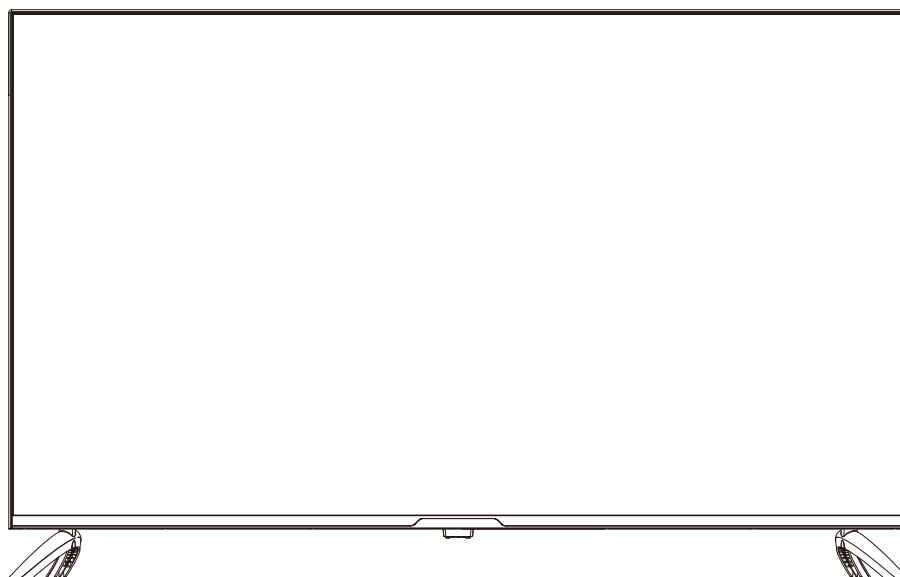


# CHiQ

## 取扱説明書 (保証書付き)

JL32G7EG/JL40G7EG  
JU50G7EG/JU55G7EG



---

### はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本製品を安心してお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明点がある場合にご活用ください。  
本機は、放送チューナー（地上波/BS/CS）を搭載しています。そのため放送を観るときは、それぞれ放送チューナーを別途用意する必要がありません。  
有料チャンネルを観るときは、配信会社との契約が必要です。

---

マクスゼン株式会社

# 目次

## ご使用の前に

- 安全上のご注意…………… 3
- 使用上のご注意…………… 6
- ご使用になる前に…………… 7

## 準備する

- 各部の名称（本体）…………… 8
- 各部の名称（つづき）…………… 12
- 各部の名称（リモコン）…………… 13
- リモコンについて…………… 14
- スタンドを取り付ける…………… 15
- 壁掛・モニターアームなどへの取り付け…………… 14
- デジタル放送用アンテナの接続…………… 17
- B-CASカードの挿入…………… 17
- 映像機器・音響機器の接続…………… 18
- インターネットの接続…………… 18
- 初期設定…………… 19

## テレビを見る

- スマートテレビのホーム画面…………… 23
- リモコンのマイクを使う…………… 24
- 設定メニュー…………… 25
- テレビ番組を楽しむ…………… 26
- 番組表を見る…………… 27
- データ放送を楽しむ…………… 30
- 入力切替メニューを使う…………… 30
- 外部機器をBluetoothで接続する…………… 31
- 文字を入力する…………… 32
- 便利な機能を使う…………… 33
- メディアプレイヤーを使用する…………… 34

## 録画・再生する

- 録画機能について…………… 35
- 録画・予約をする…………… 38
- 録画した番組を再生する…………… 40

## 設定を変える

- テレビ設定…………… 41
- 各種設定…………… 42

## その他

- 困ったときは…………… 47
- 表示メッセージ…………… 51
- 主な仕様…………… 53
- 保証とアフターサービス…………… 54

# 安全上のご注意

## 表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告



禁止

絶対に分解したり、修理・改造をしないでください。  
発火したり、異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。



禁止

通風孔や穴などにピンや針金など金属製のものを入れないでください。  
発火したり、異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。



強制

異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。  
発火したり、異常動作して、火災や感電の原因になります。お買い上げの販売店、またはご相談窓口へ連絡してください。



禁止

浴室や水のかかりやすい場所、湿気が多い場所に設置しないでください。  
漏電による火災・感電の原因になります。



強制

壁掛け工事は専門業者に依頼してください。  
壁掛け工事が不完全ですと、落下しけがの原因になります。



禁止

水をかけないでください。  
テレビの中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。



禁止

テレビを落としたり、キャビネットを破損した時は使用しないでください。  
火災・感電の原因になります。



禁止

上にものを置いたり、ペットをのせたりしないでください。  
金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

# 安全上のご注意



警告



禁止

電源コードに重いものを乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らないでください。  
コードが破損して、火災・感電の原因になります。



禁止

本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しないでください。  
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源コード・電源プラグは、傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しないでください。  
火災・感電の原因になります。



強制

電源プラグの刃と刃の間に付いたホコリは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。  
火災・感電の原因になります。



禁止

雷が鳴り出したら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触らないでください。  
感電の原因になります。



強制

電源は、交流100Vを使ってください。  
交流100V電源以外で使用すると、火災・感電の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因になります。



強制

包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意してください。  
かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。



禁止

不安定なテレビ台やキャスター付きの台、じゅうたんや布団のような柔らかいものの上など、不安定な場所に据え付けしないでください。

多くの傷害、特に子供に対しては、次のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- テレビジョンセットメーカーが推奨するキャビネット又はスタンドを使用する。
- テレビジョンセットを安全に支持する専用の家具を使用する。
- テレビジョンセットが支持する家具の端から突き出さないようにする。
- 適切な支持物に家具及びテレビジョンセットの両方を固定することなく、背の高い家具（食器棚、本棚など）にテレビジョンセットを置かない。
- テレビジョンセットと支持する家具との間に、布又は他の材質のものを敷かない。
- テレビジョンセット又はその制御器に触れるために、家具によじ登ることの危険性を子供に教育する。



強制

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電の原因となることがあります。



強制

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置してください。  
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

# 安全上のご注意



注意



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。  
火災の原因となることがあります。また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。



禁止

湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かないでください。  
加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがないでください。壁に押しつけしないでください。風通しの悪い所に押し込まないでください。(10cm以上の間隔を空けてください)  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かず、プラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



禁止

液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしないでください。  
ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に直接触れないで、拭き取ってください。もれた液が目にはいたり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかた、タコ足配線をしないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。



強制

旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。  
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



強制

ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量は徐々に上げてください。  
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。



強制

1年に一度は通風孔がホコリなどで詰まっていないか確認してください。  
本機の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。



リモコンに使用する乾電池に関する警告・注意



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
- ⊕⊖極性表示を間違えて挿入しないでください。
- 充電・加熱・火への投入・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかないでください。液漏れにより、リモコンの故障の原因になります。
- 液漏れがあった場合は、液に触れないでください。  
もしも液が目や口に入ったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従ってください。
- 電池は日光、火などの過度の熱にさらさないようにして下さい。

# 使用上のご注意

- 本製品を横倒しにして輸送した場合、液晶パネルの破損や画面欠点の増加の恐れがあります。横倒しでの輸送をしないでください。運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんで衝撃・振動を与えないでください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所(棚や押入れの中など)や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。
- 液晶パネルには、画面の一部に暗点(光らない点)や輝点(余計に光る点)がある場合があります。これは故障ではありません。
- 本機を長時間使用したときに、液晶パネル表面や本機上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合でも、故障ではありません。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケによっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。
- 電源プラグは長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです)
  - 電源プラグをコンセントから抜く場合、電源プラグを抜いている間に録画予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
- リモコンを落としたり、踏んだり、リモコンに液体をかけたりしないように、ていねいに扱ってください。直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 本機を廃棄処分する場合や他人に譲渡したりする場合、「すべての初期化」を実行していただき、設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行ってください。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 油煙や湯気が当たるところには設置しないでください。油分によりキャビネットの強度が低下し、テレビが落下するおそれがあります。

# ご使用になる前に

## USBメモリーについて

### USBメモリー

- ・ファイルシステム FAT32
- ・USB2.0対応

本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

- ※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- ・本機で使用できるUSBメモリーは32GB以下です。
- ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- ・本機では、USBメモリー内のファイルを移動させることはできません。
- ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

## 無線接続 (Bluetooth/Wi-Fi) について

本機はBluetoothおよびWi-Fiの無線通信技術を搭載しています。

### 電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯域では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事象が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

### 通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・Bluetooth機器と無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)は、同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器、無線LAN(Wi-Fi)対応機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。
- ・無線LAN(Wi-Fi)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 安全にご使用いただくために

Bluetooth機器、無線LAN(Wi-Fi)対応機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

### Bluetooth機能、無線LAN(Wi-Fi)機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。

無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

**Bluetooth機能、無線LAN(Wi-Fi)機能は日本国内で使用してください**  
本機のBluetooth機能、および無線LAN(Wi-Fi)機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

| Bluetooth部 | 仕様                      |
|------------|-------------------------|
| 適合規格       | Bluetooth Ver.5.0       |
| 通信出力       | Class2                  |
| 使用周波数帯域    | 2.4GHz帯(2.402～2.480GHz) |
| 変調方式       | G FSK                   |
| プロファイル     | A2DP、AVRCP、HID、HOGP     |
| 対応コーデック    | SBC、AAC                 |
| 通信距離*      | (見通し) 約10m*             |

\* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

## 乾電池について

### 乾電池を扱うときは

- ・指定以外の乾電池は使用しない。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
- ・液もれがおきたら使用しない。  
乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
- ・万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないと、家庭用電源で使用するときは乾電池を取りはずす。
- ・使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。

## 著作権について

- ・本機でお客様がインターネットなどから録音・ダウンロードしたものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## 免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるメモリーなどへの記録された内容の損害および録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。  
記録されたものの使用についても、当社は一切の責任を負いません。

使用されたUSBメモリーなどが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となり、当社は一切の責任を負いません。

## 商標とライセンス

### Google関連

Google、YouTube、Android TV、Chromecast built-in は Google LLC の商標です。

### Netflix

Netflix視聴プランのメンバーシップが必要です。4K視聴については、Netflix視聴プラン、インターネットサービス、デバイス機能、利用可能なコンテンツによって異なります。詳細は[www.netflix.com/TermsOfUse](http://www.netflix.com/TermsOfUse)をご覧ください。

### Prime Video

Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

### Dolby Audio

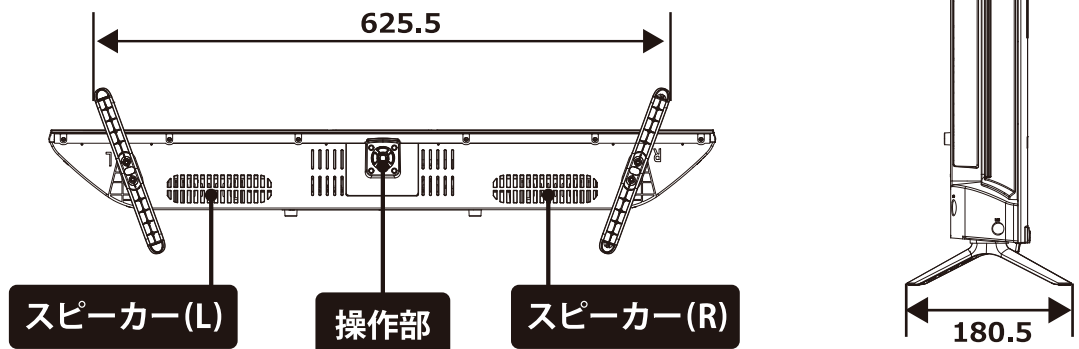
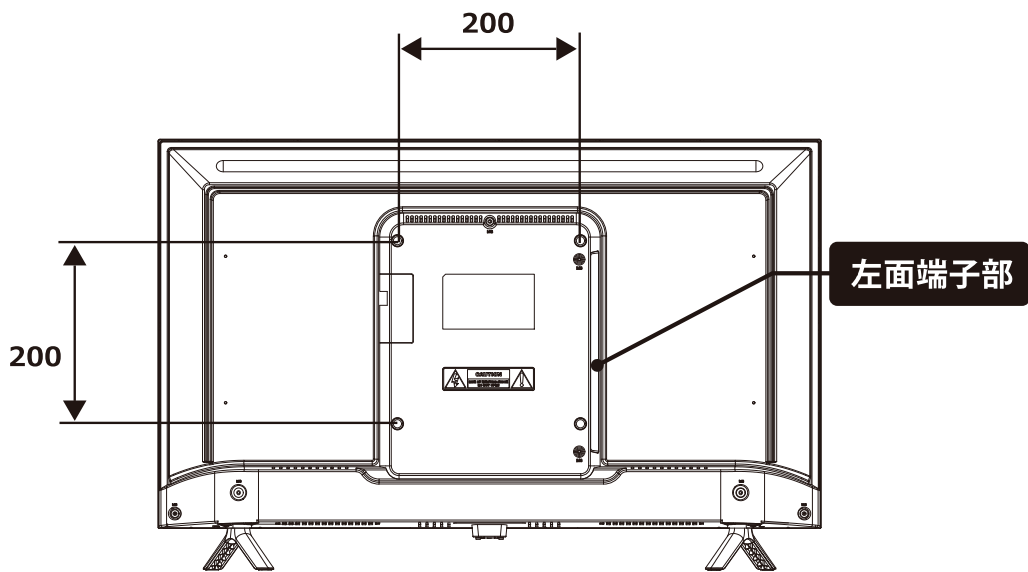
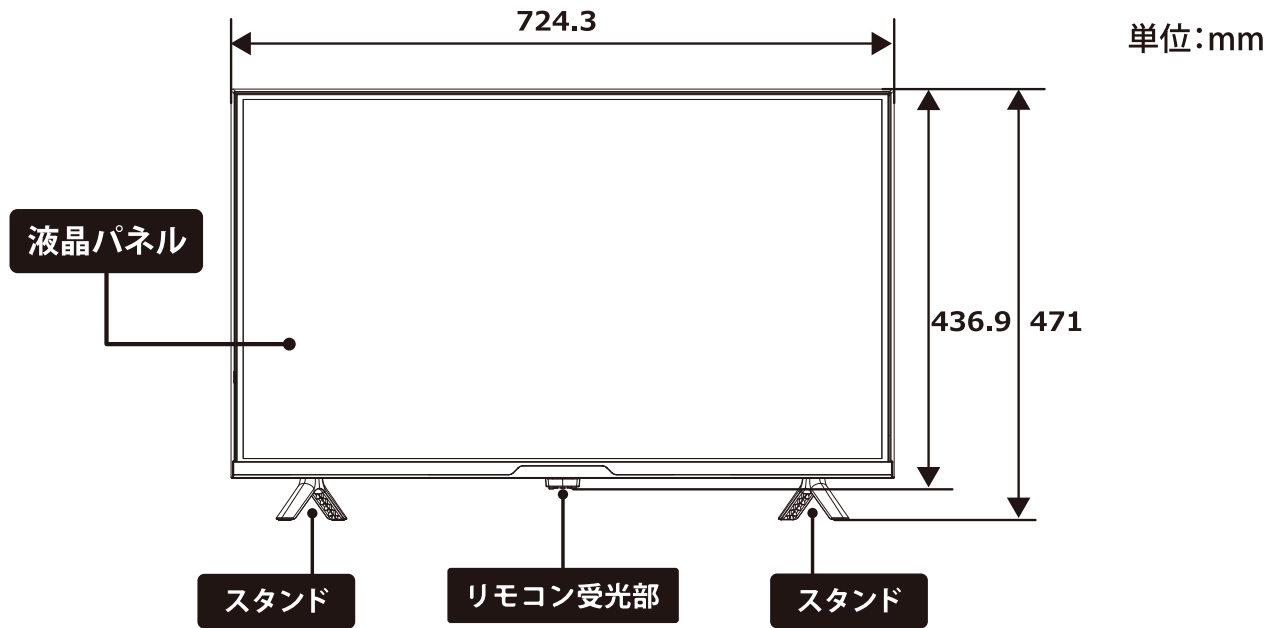
Dolby、ドルビー、Dolby Audio、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標または登録商標です。

### HDMI

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI ロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

# 各部の名称 (本体)

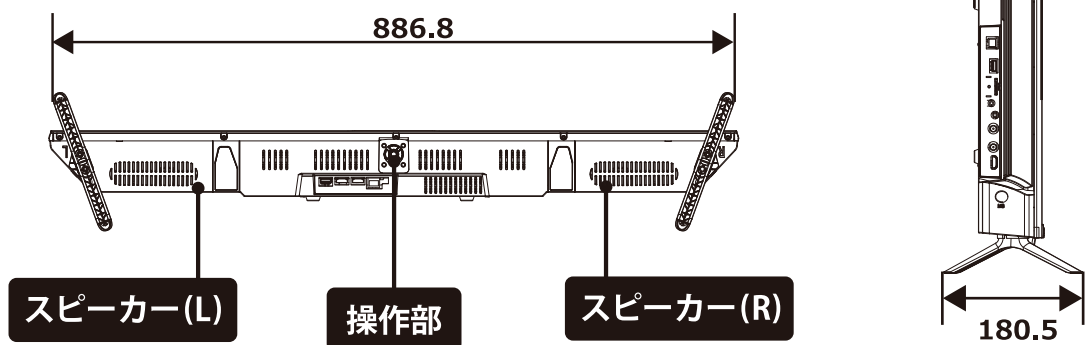
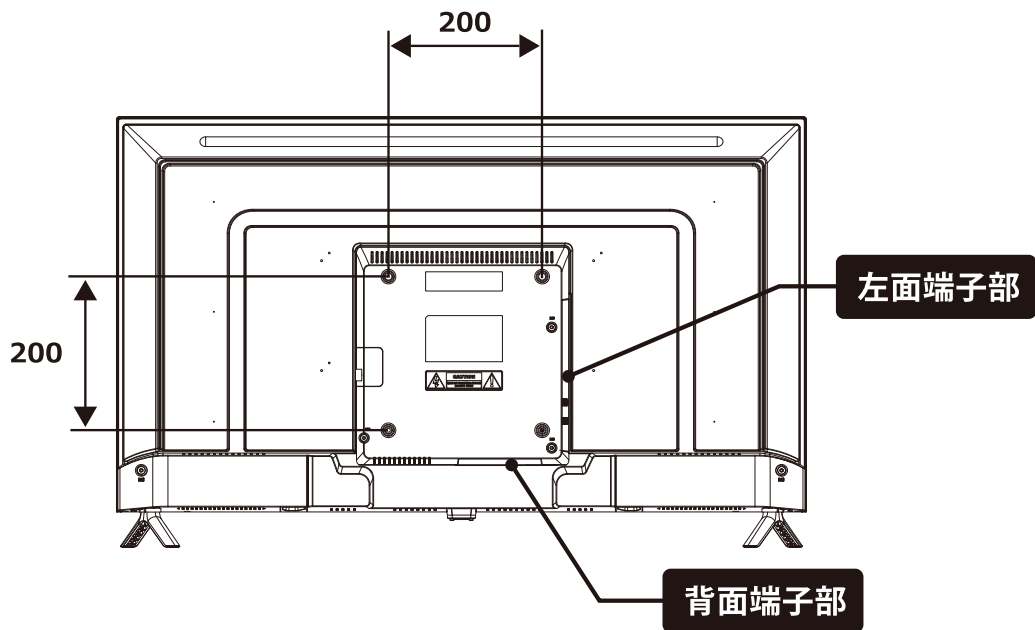
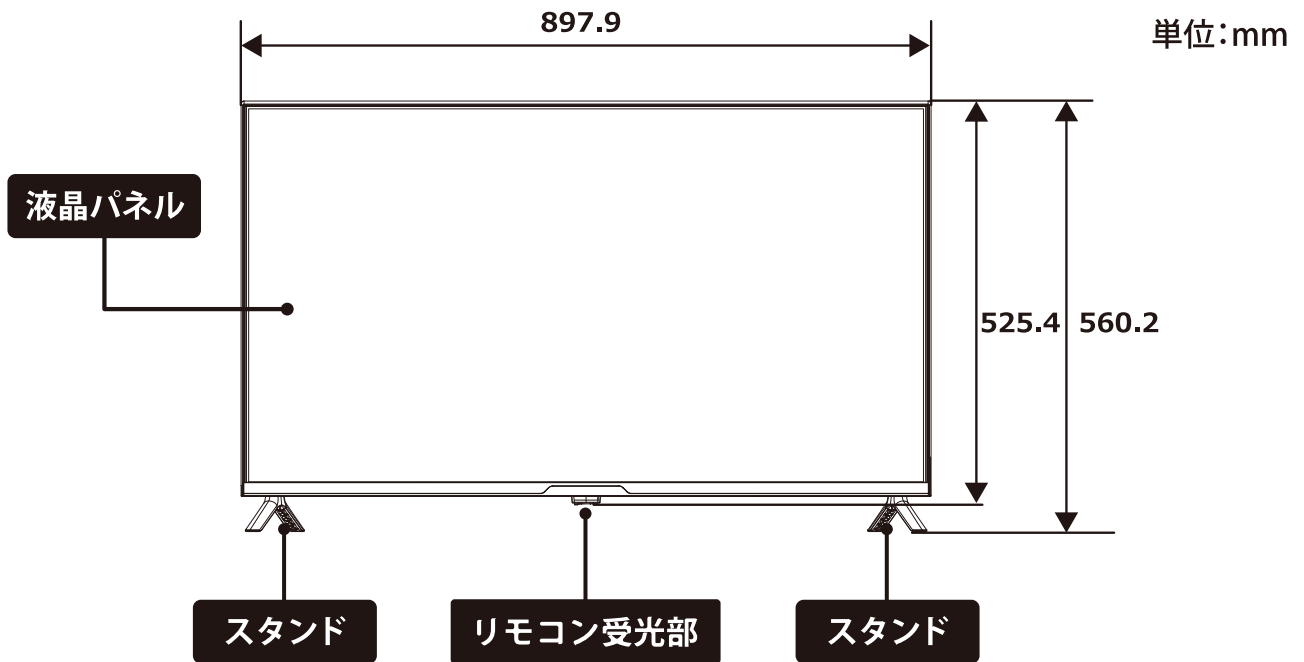
JL32G7EG





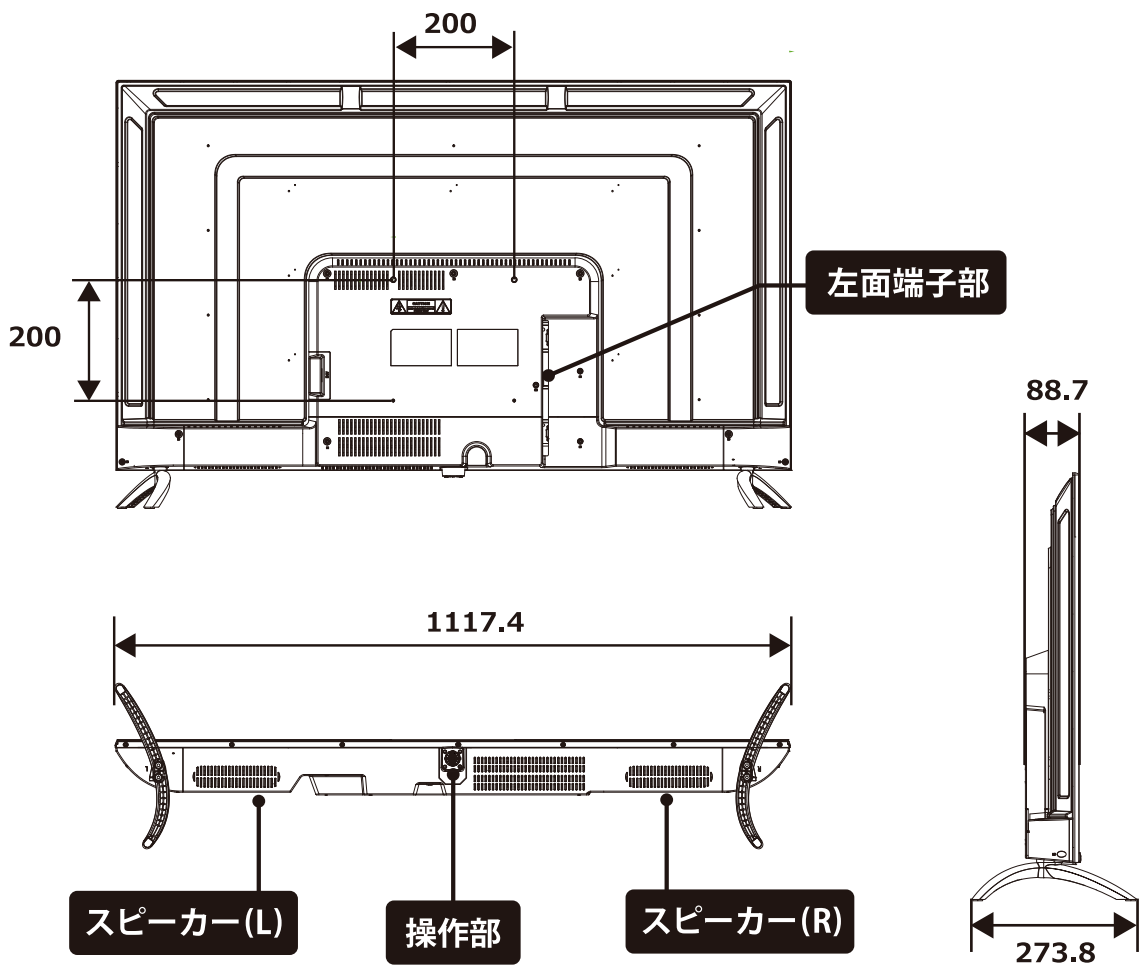
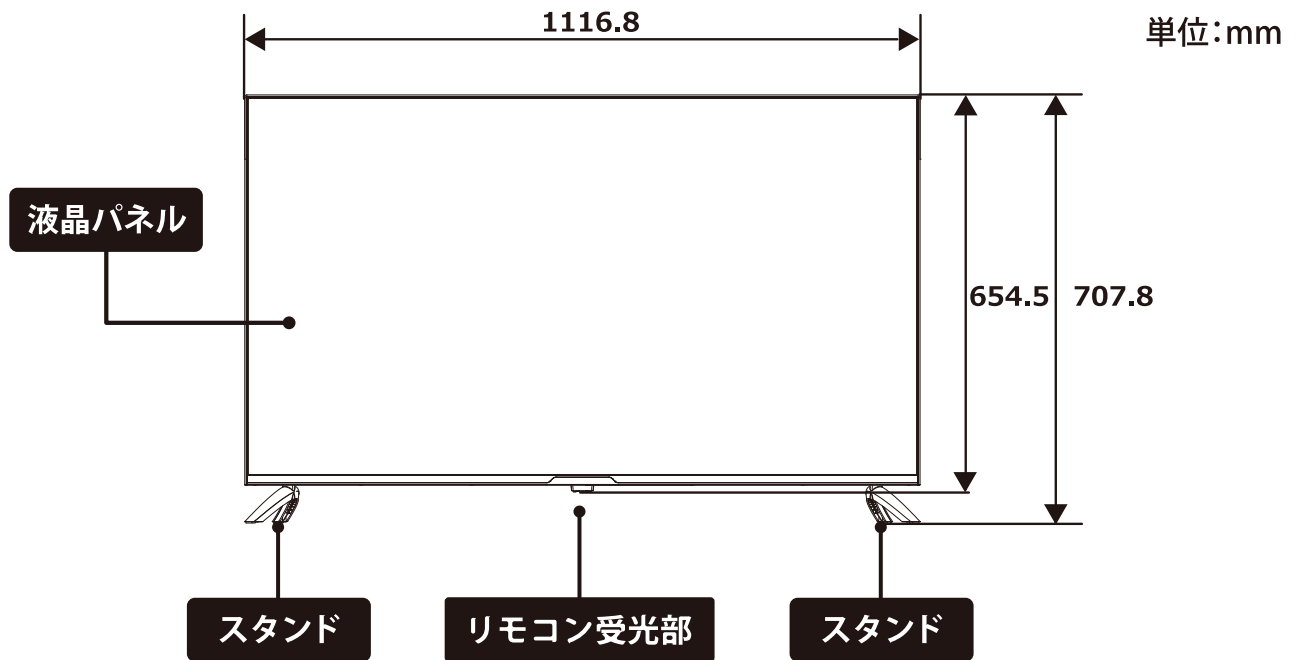
# 各部の名称 (本体)

JL40G7EG



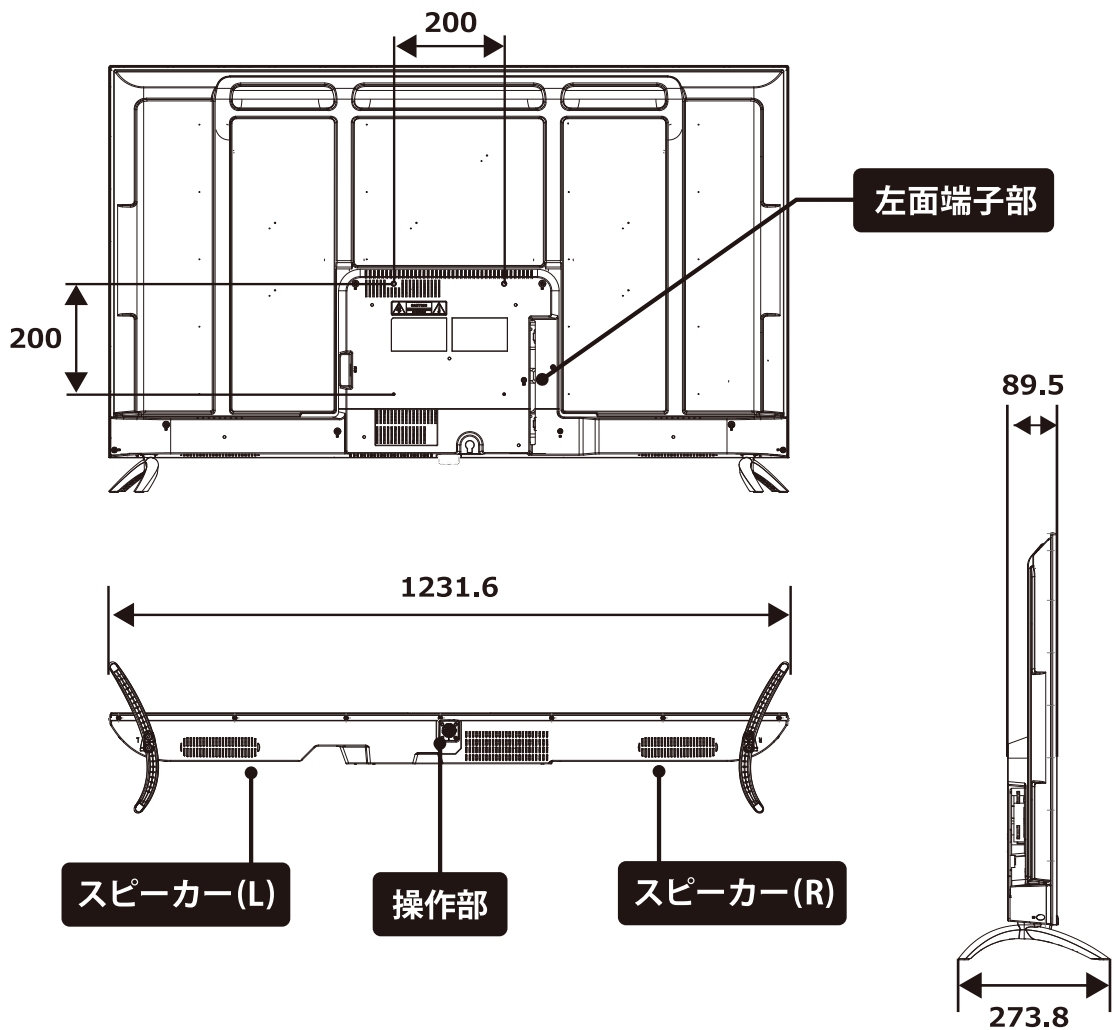
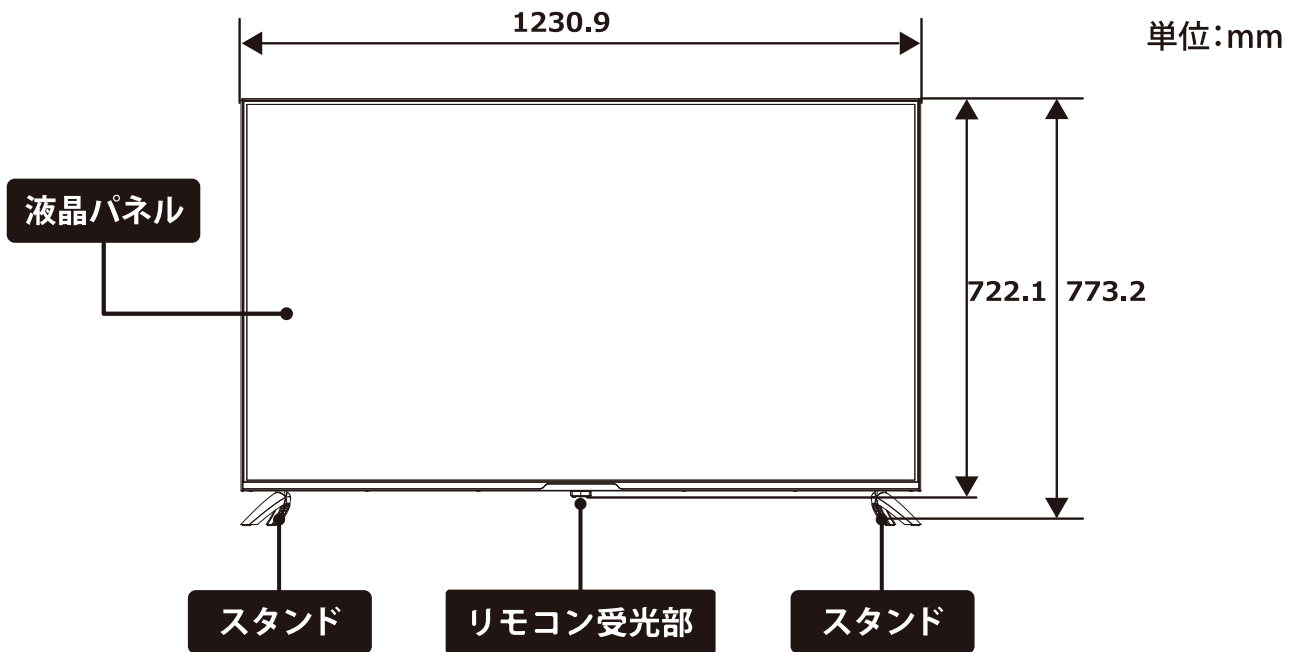
# 各部の名称 (本体)

JU50G7EG



# 各部の名称 (本体)

## JU55G7EG

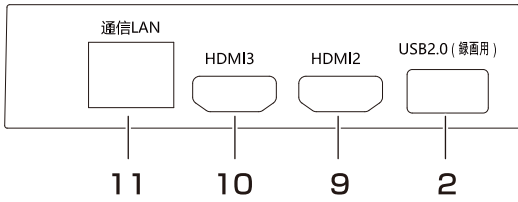


# 各部の名称 (つづき)

## 背面端子部

下面

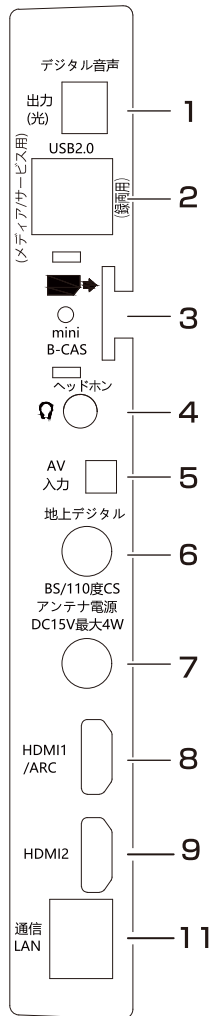
40



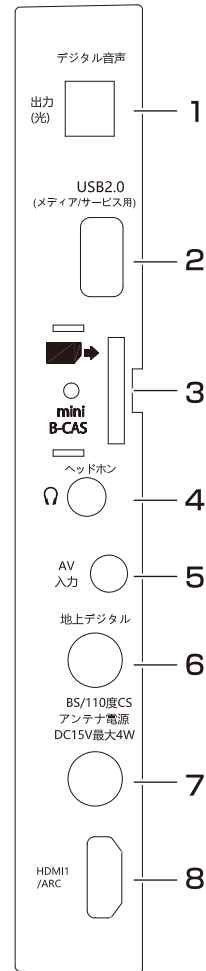
- 1 デジタル音声出力端子
- 2 USB 端子(録画用/メディア再生用)
- 3 mini BCAS カード挿入口
- 4 ヘッドホン端子
- 5 AV 入力端子
- 6 アンテナ端子(地上)
- 7 アンテナ端子(BS/CS)
- 8 HDMI 1/ARC 入力端子
- 9 HDMI 2 入力端子
- 10 HDMI 3 入力端子
- 11 LAN 端子

側面

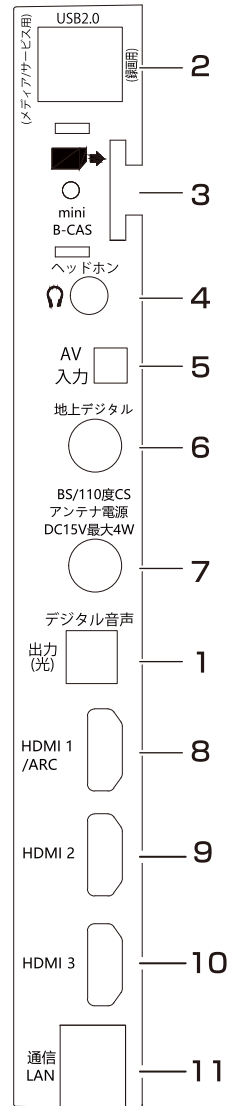
32



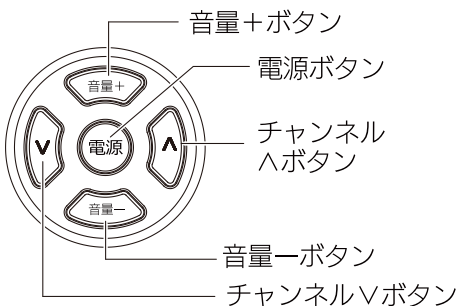
40



50/55

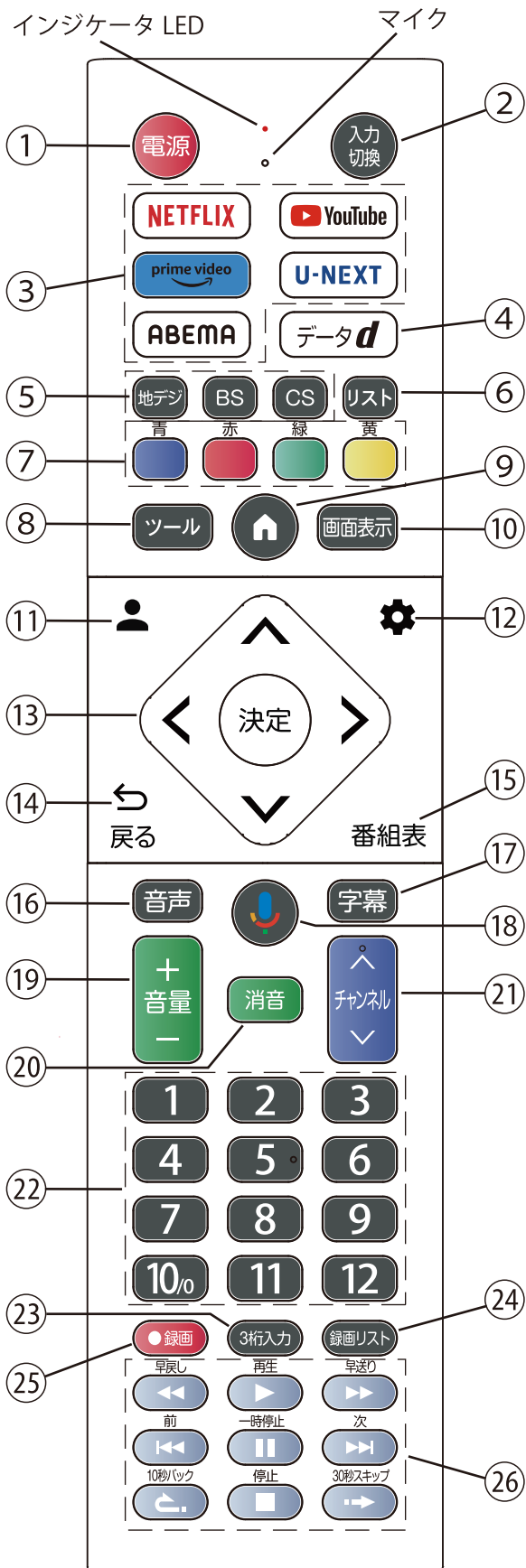


## 底面操作部



- 電源ランプ
- 主電源オフ：消灯
  - スタンバイ：赤点灯
  - 電源オン：緑点灯
  - スタンバイ、録画実行中：赤点灯
  - 電源オン、録画実行中：緑赤交互点灯

# 各部の名称 (リモコン)



- ① **電源** 電源オン/スタンバイを切り替えます。  
長押しするとシャットダウンして待機状態になります。  
この場合、通常のスタンバイとは異なり、下記動作となります。
  - ・通常のスタンバイ状態よりも待機時の消費電力が軽減される。
  - ・予約録画、実行中の録画動作は実施されません。
  - ・電子番組表の更新はされません。
  - ・通常のスタンバイからの起動よりも時間がかかります。
  - ・ネットワークを経由した起動 (WoW/WoI) は実施されません。
  - ・バックグラウンドでのアプリケーション動作は実施されません。
- ② **入力切替** 入力切替メニューを表示します。
- ③ **NETFLIX / YouTube™ / PrimeVideo / U-NEXT / ABEMA** の各種サービスに切替えます。
- ④ **dデータ** データ放送を表示します。
- ⑤ **放送切替(地上デジタル、BS、CS)**  
視聴する放送波を切替えます。
- ⑥ **リスト** 放送中の番組リストを表示します。
- ⑦ **青、赤、緑、黄**  
メニューやデータ放送の操作に使用します。
- ⑧ **ツール** 設定メニューなどを表示します。
- ⑨ **ホーム** Google TV™ のホームメニューを表示します。
- ⑩ **画面表示**  
視聴している番組情報や時刻などを表示します。
- ⑪ **Google アカウント**  
Google アカウントを登録、変更するときに使用します。
- ⑫ **設定** 各種設定をする設定画面を表示します。
- ⑬ **▲▼◀▶ 決定**  
カーソルの移動、項目の選択に使用します。
- ⑭ **戻る** メニュー操作中などに前の画面に戻ります。
- ⑮ **番組表** 番組表を表示します。
- ⑯ **音声切替** 音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。
- ⑰ **字幕** 字幕を表示します。
- ⑱ **Google アシスタント**  
Google アシスタントを使い、声で操作できます。
- ⑲ **音量** 音量を変更します。
- ⑳ **消音** 消音するときに使用します。
- ㉑ **チャンネル** チャンネルを切替えます。
- ㉒ **1~12** チャンネルの選局に使用します。
- ㉓ **3桁入力** チャンネルの3桁番号入力で使用します。
- ㉔ **録画リスト** 録画番組の一覧を表示します。
- ㉕ **録画** 視聴中の番組を録画します。
- ㉖ **再生、早戻し、早送り、一時停止**などの再生動作の操作を行います。

# リモコンについて

## リモコンの電池の取り付け

付属の乾電池をリモコンの裏面の電池ケースに取り付けてください。

- 1 リモコン裏面の電池ぶた下方へ引き下げて取りはずす
- 2 乾電池の+極の方向に注意して、乾電池を入れる
- 3 電池ぶたを元の位置に取り付ける  
電池ぶたの裏面にあるツメの位置を確認し、リモコン側の凹みに合わせて取り付け、電池ぶたを全体的に動かしてください。

### ⚠️ ご注意

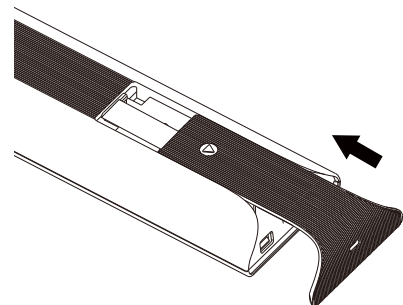
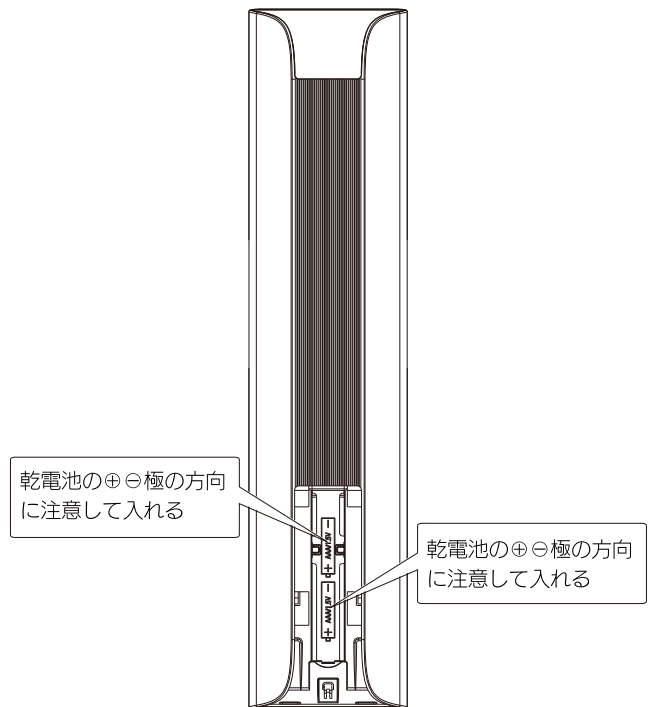
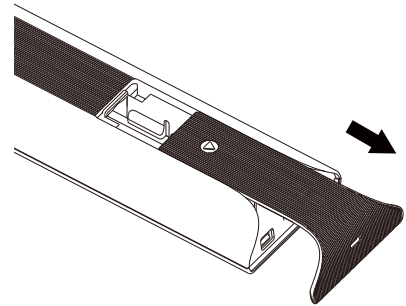
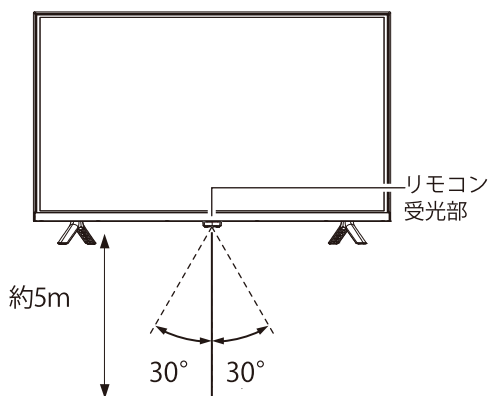
- 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

### || お願い

- 乾電池は正しい方向に入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。
- 付属の乾電池はお試し用です。早めに新しい乾電池と入れ替えてください。

### リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作は、本体前面にあるリモコン受光部の正面から約5メートル、左右30°の範囲でお使いください。



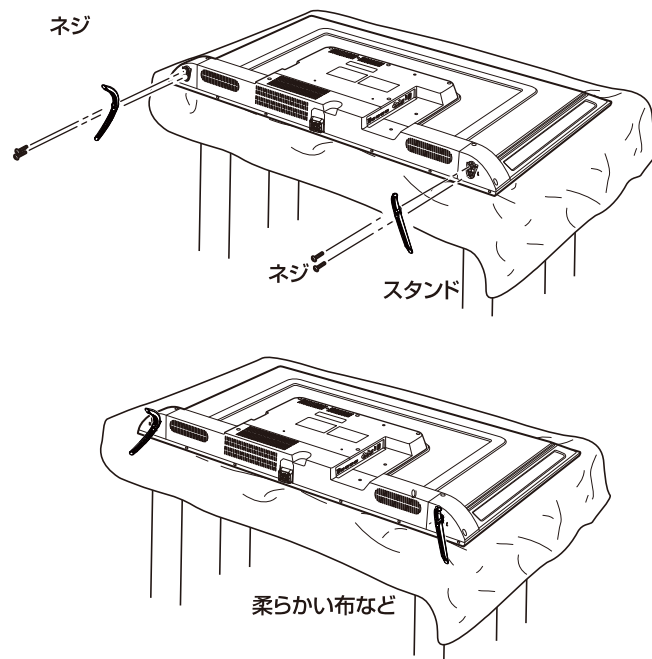
# スタンドを取り付ける

## スタンドの取り付け

本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付けの際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。

- 1 台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く
- 2 右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属の固固定ネジ(4本)で固定する

スタンド取付部の形は、左右で異なります。お手持ちの適切な大きさの+（プラス）ドライバーを使用してガタつきがないようにしっかりとネジをしめてください。



### △ご注意

- スタンドの取り付けは、2人以上で行なってください。
- スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力で液晶パネルが破損する可能性があります。
- 電動ドライバーを使用する場合は、必ずトルク設定機能があるものを使用し、トルクは1.0N・m(10kgf・cm)に設定してください。また、ネジがまっすぐ入っていることをよく確認し、引っかかりを感じたらすぐ止めてください。  
※ トルクとは、ネジを回す強さのことです。トルク設定機能がない電動ドライバーはトルクが強すぎるため、ネジ山がつぶれたり、ネジが折れたりする危険があるので使用しないでください。

## 壁掛・モニターアームなどへの取り付け

本機は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けたり、モニターアームなどへも取り付けすることができます。

- 本機を取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 壁への取り付けが不完全または誤った取り付けかたをすると、本機が落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。

# 壁掛・モニターアームなどへの取り付け

## ■お知らせ

VESA 規格に準じた金具をご使用できます。  
本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください（電源コード、接続するHDMIケーブルなどの重量も考慮してください）。

ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調節してください。

下記の条件に合った金具をご使用ください。

### JL32G7EG

ネジ穴寸法： 200mm×200mm (VESA規格)  
耐荷重：4.0kg以上  
取り付けネジ： M6×10mm×4本

### JL40G7EG

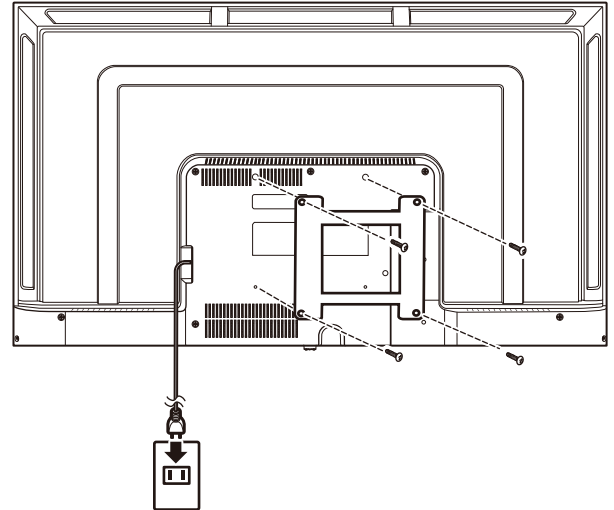
ネジ穴寸法：200mm×200mm (VESA規格)  
耐荷重：5.8kg以上  
取り付けネジ： 上：M6×16mm×2本  
下：M6×10mm×2本

### JU50G7EG

ネジ穴寸法：200mm×200mm (VESA規格)  
耐荷重：9.3kg以上  
取り付けネジ： 上：M6×16mm×2本  
下：M6×10mm×2本

### JU55G7EG

ネジ穴寸法： 200mm×200mm (VESA規格)  
耐荷重：11.2kg以上  
取り付けネジ： 上：M6×16mm×2本  
下：M6×10mm×2本



## ⚠️ ご注意

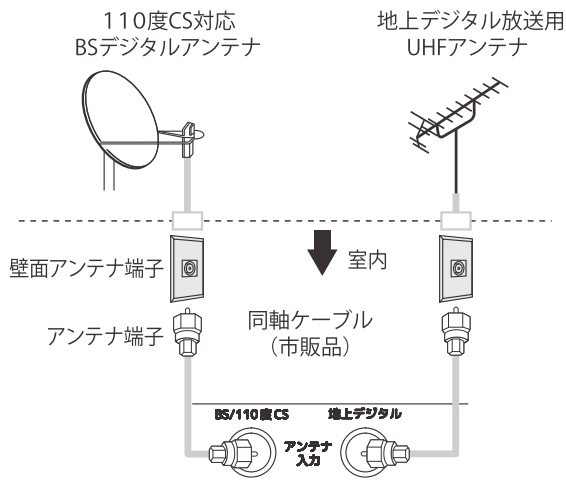
- 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します（ワッシャーを入れて調節ください）。
- 油煙や湯気が当たるところには設置しないでください。油分によりキャビネットの強度が低下し、本機が落下するおそれがあります。
- 電動ドライバーを使用する場合は、必ずトルク設定機能があるものを使用し、トルクは1.0N・m(10kgf・cm)に設定してください。また、ネジがまっすぐ入っていることをよく確認し、引っかかりを感じたらすぐ止めてください。
- 電源コードの位置に注意して取り付け金具を選択してください。
- 本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取りはずしてください。
- 取りはずしたスタンド（スタンド・バー・組立用ネジ）と取付用ネジは大切に保管してください。



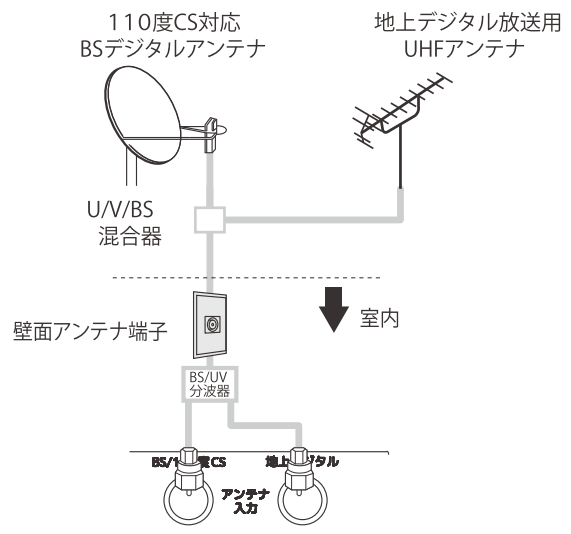
# デジタル放送用アンテナの接続

ご使用になるアンテナ線の種類により、接続の方法が異なります。  
アンテナ線の種類により市販品の変換プラグを取り付け本機と接続します。  
アンテナをつなぐときは、かならず電源を切ってください。

## ● UHF アンテナが個別のとき

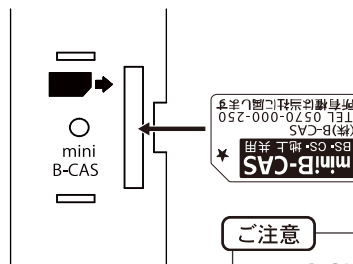


## ● BS・CS が混合のとき (例：UHF/BS 混合入力)



# B-CASカードの挿入

デジタル放送を視聴する場合には、必ず付属のminiB-CASカードを挿入してください。  
B-CASカードは、放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護の為にコピー制御にも利用されています。



## B-CASカード挿入について

- ① B-CASカードの向きを合わせて挿入する。

### ご注意

mini B-CASカードはこの向きに入れてください

## miniB-CASカードを挿入するとき

本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入してください。  
miniB-CASカードの挿入は、絵表示が見える面の角が取れている部分を下向きにして、挿入口に合わせて、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。

## miniB-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを抜いたあと、「カチッ」と音が鳴るまでカードを押し、カードが出てきたらゆっくり抜いてください。

本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに違う番号(B-CASカード番号)が付与されています。  
B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。

- ・ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- ・B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
- ・裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- ・カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

### メモ

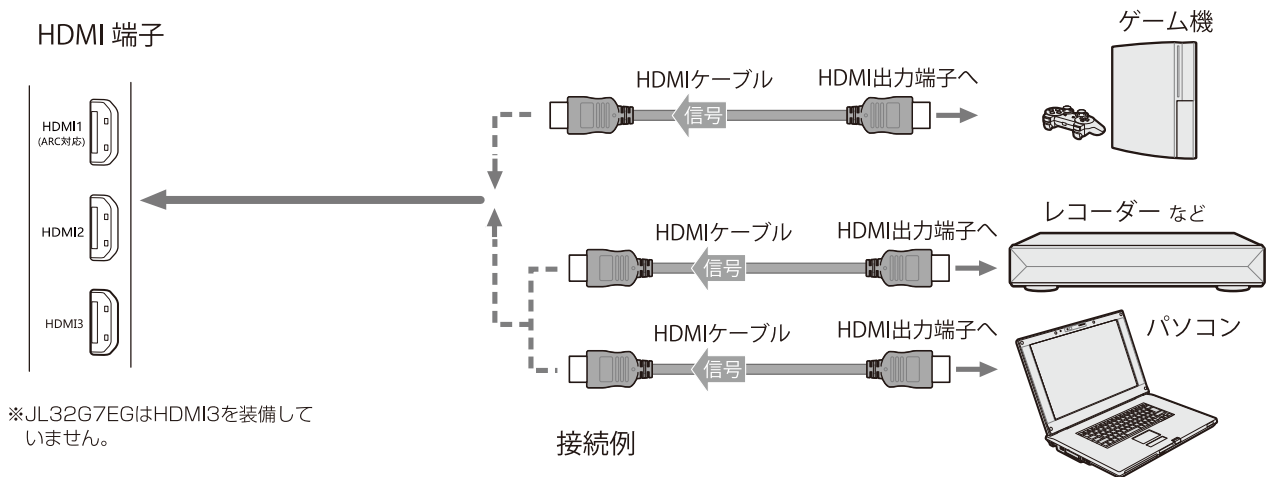
B-CASカードについてのお問い合わせは、こちらにお願いいたします。  
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター  
TEL 0570-000-250

### 警告

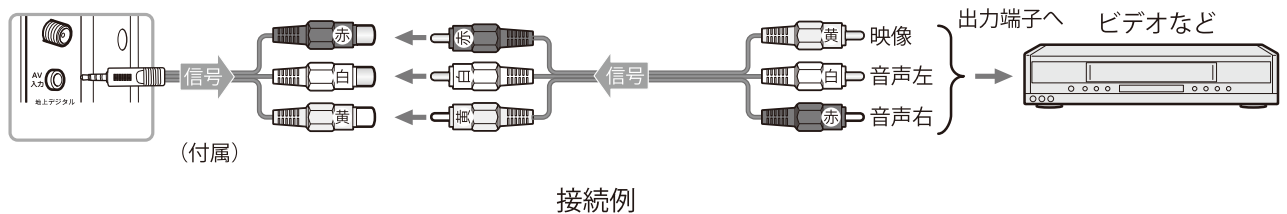
- このカードは常時受信機器に装着して使用し、小さいお子様にふれさせないようにしてください。誤って飲み込むと、窒息またはけがのおそれがあります。
- 万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

# 映像機器・音響機器の接続

外部機器を接続するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。



## AV 入力端子



# インターネットの接続

## インターネットの接続

本機を利用するためには、インターネットに接続する必要があります。

あらかじめプロバイダー契約など、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

### 有線で接続する場合

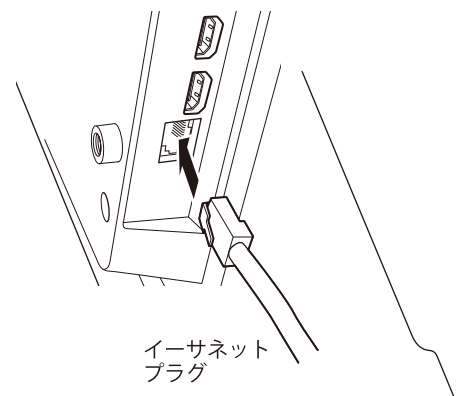
有線で接続する場合は、自宅のルーターと LAN ケーブルでインターネット接続をします。

- ・ LAN ケーブルは長さに余裕を持った接続をしてください。
- ・ インターネットのプラグを差し込んだとき、「カチッ」と音がしてロックされ、はずれないようになっていることを確認してください。

### 無線(Wi-Fi)で接続する場合

無線で接続する場合は、自宅の Wi-Fi ルーターなどを準備し、接続します。

- ・ Wi-Fi 機器からできるだけ近い、安定して高速で接続できる位置で接続をしてください。
- ・ Wi-Fi ルーターが対応する周波数と本機の対応する周波数が一致しない場合、Wi-Fi ルーターの持つ性能を生かしきれないことがあります。



# 初期設定

## 初期設定

初めて電源を入れると、Google TV のロゴを表示後、初期設定画面が表示されます。

※起動から初期設定画面表示まで数分かかります。

### 言語設定



1

【日本語】を選択し、決定ボタンを押す。

### Google TV を設定する



【Google TV の設定】を選択し、決定ボタンを押す。

- Google TV の設定：  
スマートテレビ機能や、ネット動画を楽しめます。
- ベーシックテレビの設定：  
テレビ放送や、外部機器を主に視聴します。

2

※この説明書では【Google TV の設定】を選択した例を説明いたします。

### Google アカウント設定方法の選択



リモコンまたはお使いのスマートフォンで Google アカウントの設定をします。

- リモコンで設定する場合は、▼を押して【リモコンで設定を続ける】を選択し、決定ボタンを押す。

- スマートフォンで設定する場合は、お使いのスマートフォンに Google Home アプリをインストールし、アプリケーションメニュー「デバイスをセットアップ」または「Google TV デバイスをセットアップ」を選択し、スマートフォンに表示される手順に従って進めてください。

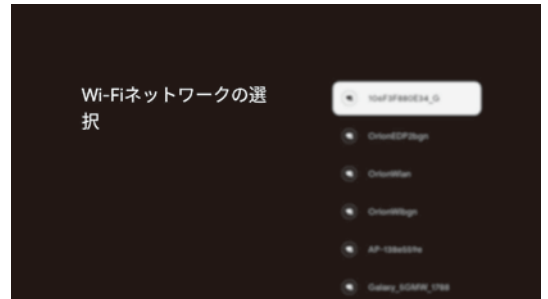
画面左上に表示される Google TV \*\*\*\* (4桁の数字) と画面右側に表示される QR コードを使って設定します。

※本説明書では【リモコンで設定を続ける】を選択し、リモコンを用いて設定する場合について説明していません。

3

### ネットワークの設定

接続したいネットワークを選択し、ネットワークのパスワードを入力し接続します。



4

### Google アカウント登録

① Google アカウントを登録します。ご自身の Google アカウントのメールアドレスまたは電話番号を入力してください。

- 「アカウントを作成」を選択すると、新しいアカウント（個人認証情報）を作成することができます。
- 使用したアカウント名、パスワードを控えておいてください。



②パスワードを入力する。

入力後に【次へ】を選択し、決定ボタンを押します。使用するアカウントと結びついたメールアドレスやスマートフォンに利用通知が送られます。

アカウントを安全に保つため、表示画面に従って2段階認証プロセスを行ってください。

5

# 初期設定

## Google の利用規約



Google の利用規約、Google のプライバシーポリシー、および Google Play の利用規約を表示します。

- ① 【詳細】を選択し、決定ボタンを押す。



# 6

- ② 各項目の内容をご確認の上、【同意する】を選択して決定ボタンを押す。

## Google サービスの確認




- ① 画面の指示に従い、サービスの詳細をご確認した上で、【同意する】を選択して決定ボタンを押す。



- ② 【次へ】を選択し、決定ボタンを押す。



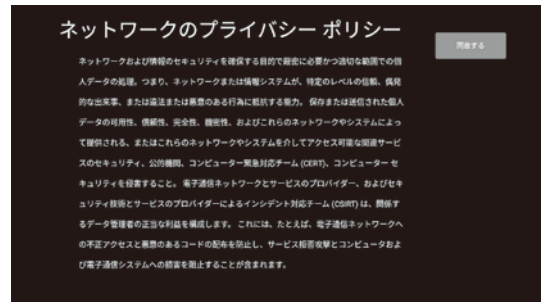
- ③ インストールしたいアプリを選択し、決定ボタンを押すとアプリ右上に  が表示されます。選択を取り消すには、再度決定ボタンを押す。

- ④ 【確認】を選択し、決定ボタンを押す。

# 7

- ⑤ Google サービスの設定が完了しました。【次へ】を選択し、決定ボタンを押す。

## ネットワークのプライバシーポリシーの確認






# 8

- ① ネットワークのプライバシーポリシーをご確認の上、【同意する】を選択し、決定ボタンを押す。

## リモコンと本製品をペアリングする



# 9

- リモコンのインジケータ LED ランプが点滅し始めるまでリモコンの  と音量  キーを同時に押す。ペアリング中は画面上部に接続表示がされ、完了時には  マークが表示されます。

※ 上記画面や設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。

# 初期設定

## パスワードの入力



10

画面の指示に従いパスワードを入力してください。

## テレビモードの選択



11

【ホーム】または【販売店】を選択し、決定ボタンを押す。  
※【販売店】を選択すると、店頭展示向けの機能が有効になります。

## 省エネ設定



画面の指示に従って設定してください。

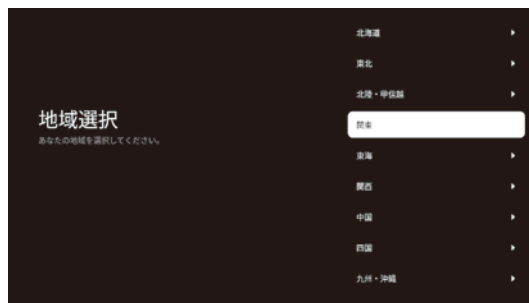
- 省エネモード  
使用していない時の消費電力を抑えることができます。
- Chromecast Built-in  
スタンバイ状態でも Google Cast で利用可能にする。
- ネットワークのみでウェイク ...  
スタンバイ時にウェイクオンネットワークのみ利用可能にする。

12

## チャンネルスキャン



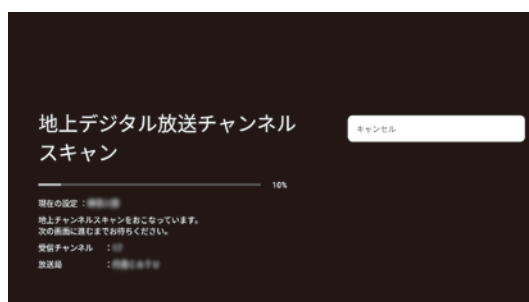
① テレビの設置場所の郵便番号を設定します。



② テレビの設置場所の地域を設定します。



③ 受信帯域（チャンネルスキャン範囲）を設定します。  
通常は「UHF」を選択します。  
【次へ】を選択し、決定ボタンを押すとスキャンが始まります。



④ スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。



13

⑤ 【次へ】を選択し、決定ボタンを押す。

# 初期設定

## BS/CS アンテナ電源供給設定

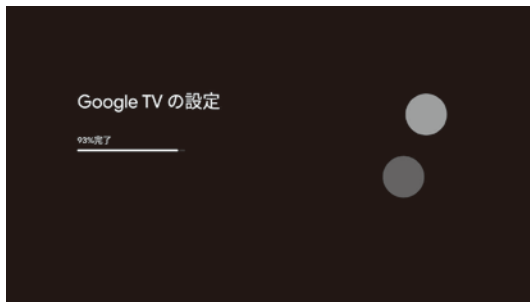


BS/CS アンテナ電源供給設定の【オン】 / 【オフ】を設定します。

- BS/CS アンテナを繋がない場合や、別の機器からアンテナ電源を供給する場合は「オフ」、本機から電源を供給する場合は「オン」に設定してください。

# 14

## Google TVの設定



- ① Google TV の設定が始まります。  
時間がかかりますので、完了までお待ちください。



- ② Google TV の準備が完了しました。  
【始めましょう】を選択し決定ボタンを押す。

スマートテレビのホーム画面が表示されます。


# 15

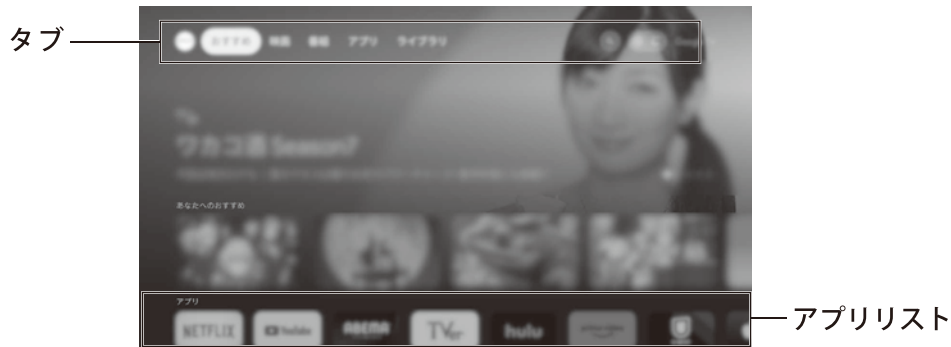
※ 上記画面や設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。

# スマートテレビのホーム画面

- Google TVが、さまざまなアプリやサブスクリプションからあなたのお気に入りのコンテンツをまとめます。
- ネットワークの状態によっては、応答が遅くなったり中断されたりすることがあります。
- アプリケーションの使用中に問題が発生した場合は、コンテンツプロバイダ（アプリケーションの提供元）へ連絡してください。
- コンテンツプロバイダの状況に応じて、アプリケーションの更新またはアプリケーション自体の配布やサービスが終了することがあります。
- 国の規制によっては、一部のアプリケーションにおいてサービスが制限されたりサポートされない場合があります。
- お申し込み内容の変更などがサービス提供者による予告なしに行われることがあります。
- 詳しくはご利用のアプリケーション・コンテンツプロバイダへご確認ください。

## ホーム画面

リモコンの  ボタンを押すとスマートテレビのホーム画面を表示します。



※バージョンアップにより画面が異なる場合があります。

# 1

# 2

タブの各項目、アプリリストのアプリなどを選択し、決定ボタンを押す。

 ボタンを押すと、前の画面または前の手順に戻ります。

### タブ

- ・検索 : リモコンまたはテレビに表示されるキーボードを使用してキーワードを入力したり、さまざまなコンテンツを検索したりできます。  
※音声検索の詳細については、「リモコンのマイクを使う」を参照してください。
- ・おすすめ : おすすめを表示します。
- ・映画 : 映画を表示します。
- ・番組 : 番組を表示します。
- ・アプリ : アプリリストを表示します。
- ・ライブラリ : テレビやスマートフォンなどで購入、レンタル、見たいものリストに追加したコンテンツが表示されます。

### アプリリスト

- ① インストール済みのアプリのリストが表示されます。◀▶で選択します。
- ② アプリを選択して、決定ボタンを押すと、放送や選択したコンテンツを視聴できます。
- ③ アプリを選択して、決定ボタンを長押しすると、並べ替え順を変更したり、削除したりできます。

# 3



※バージョンアップにより画面が異なる場合があります。

※上記画面や設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。また、視聴中のコンテンツの内容、入力信号の状態等により表示される内容、選択できる内容が異なる場合があります。

## アプリケーションを追加する

ホーム画面から「アプリ」タブを選択します。下にスクロールするとおすすめアプリケーションの表示や、検索バーが表示されます。使用したいアプリを選択したら、画面の指示に従ってインストールします。インストール済のアプリを選択した場合、アプリが実行されます。

## アプリケーションを削除する

- ①  を押し、画面から  ⇒ 「アプリ」⇒ 「アプリをすべて表示する」をそれぞれ選択して決定ボタンを押す。
- ② すべてのアプリから削除したいアプリを選択し、決定ボタンを押す。
- ③ 「アンインストール」を選択し、決定ボタンを押す。
- ④ 「OK」を選択し、決定ボタンを押すと、アプリが削除されます。  
「キャンセル」を選択し、決定ボタンを押すと、削除せずに前の画面に戻ります。




### ご注意



- 出荷時にインストール済のアプリケーションや、システムアプリを削除しないでください。動作が不安定になったり、機能の一部が利用できなくなります。
- アプリ内の契約解約や会員登録の削除などは各サービスを通じて行ってください。

# リモコンのマイクを使う



- リモコンのマイクを使用して、音声検索ができます。
- 音声検索を使用する前に、リモコンとテレビをペアリングする必要があります。
- ※ 音声検索を使用するにはインターネット接続が必要です。
- ※ Google アシスタントによるテレビの音声操作をする場合には、Google アカウントへのログインが必要になります。

## リモコンとテレビをペアリングする

- 1 リモコンとテレビがペアリングされていない場合、リモコンのインジケータ LED が点滅し始めるまでリモコンの  と音量  キーを同時に押す。  
表示され自動的にペアリングされます。  
リモコンがテレビと正常にペアリングされると、リモコンのインジケータ LED が消灯し、画面に  マークが表示されます。

- 2  を押しながら、リモコンのマイクに向かって話します。
  - 話し終わったら  から指を離してください。
  - 音声例が表示される場合があります。
  - マイクに向かって話すと検索結果が表示されます。

## ペアリングを解除する

- 1  を押して、画面上で  ⇒「リモコンとアクセサリ」⇒「TVC0GWB T」⇒「削除」⇒「はい」を選択して、決定ボタンを押す。  
これによりペアリングが解除され、音声入力ができなくなります。
  - 再びペアリングするには、上記「リモコンとテレビをペアリングする」の操作を行ってください。
  - 本製品の初期化設定を行い、工場出荷状態にすると自動的にペアリングは解除されます。

※ 上記画面や設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。



# 設定メニュー

デバイス名の設定、チャンネルと入力、映像と音声、ネットワーク、アカウント、アプリなどのスマートテレビ機能に対する設定を行います。


## 設定メニューを表示して操作する

リモコンの  を押すと、通知メニューが表示されます。



通知メニュー

1

 を選び、決定ボタンを押して設定画面に入ります。

2

項目を選択し、決定ボタンを押して設定します。

3

 を押すと前のメニューに戻ります。

4

 を押すと設定メニューを閉じて、ホーム画面に戻ります。

5

| 設定メニュー項目       | 機能   |
|----------------|--|
| デバイス名の設定       | 本製品の名称を設定します。  |
| チャンネルと入力       | チャンネルスキャンと外部入力の設定をします。   |
| ディスプレイと音       | 映像および音声の設定を行えます。   |
| ネットワークとインターネット | Wi-Fiとインターネットの設定を行います。   |
| アカウントとログイン     | テレビを最大限に活用するには、Google アカウントにログインしてください。  |
| プライバシー         | 位置情報、使用状況と診断、エンドユーザー使用許諾契約の確認や Google アシスタントのアクセスなどを設定します。                               |
| アプリ            | 最近開いたアプリ、インストールされているすべてのアプリ、さまざまなアプリに対する権限を追加したり、特別なアプリアクセスを設定して電力やストレージを節約したりすることができます。 |
| システム           | ユーザー補助、日付/時刻、言語などシステム設定を調整することができます。   |
| リモコンとアクセサリ     | Bluetooth・アクセサリのペアリングを設定することができます。   |
| ヘルプとフィードバック    | Google にフィードバックを送信し、Google TV ヘルプサイトにアクセスします。  |

※ 上記画面や設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。

# テレビ番組を楽しむ

## テレビ放送を視聴する

### テレビ視聴に切り換える

地デジ BS CS で放送の種類を選ぶ

- 1 または **入力切換** を押して表示されたメニューの「ソース」から、▲▼ボタンを押して「地デジ」「BS」「CS」から視聴したい放送を選び、決定します。

### チャンネルを切り換える

- 以下の三通りの選局方法があります

#### 選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- 選局ボタン **1** ~ **12** で選局します。

#### チャンネルボタンで選局する(順次選局)

- **チャンネル** でチャンネルが順に切り換わります。

#### チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

- チャンネル番号は番組表で確認できます。  
リモコンの「3桁入力」ボタンを押すと、画面右上に3桁入力の表示がでます。  
番組表で確認した数字を **1** ~ **10<sub>0</sub>** で入力します。  
例：103チャンネルを選択する場合 **1** **10<sub>0</sub>** **3** を入力します。  
(0は **10<sub>0</sub>** で入力します)



# 番組表を見る

## 番組表の操作

- 1 放送視聴中に **番組表** を押します。視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。放送の種類を変更するには **地デジ** **BS** **CS** を押します。



- 番組表は当日から8日間分表示されます。前日の番組表を表示するには **赤** を押す。翌日の番組表を表示するには **緑** を押す。
- 表示を消すには、再度 **番組表** を押す。
- 番組情報の取得には表示されるまで時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。

### ご注意

- 詳しくは画面下部に表示される操作案内を参照してください。  
“—” と表示されているキーは使用しません。

- 2 ▲▼◀▶で番組を選び、決定ボタンを押すと、番組詳細の画面が表示されます。

# 番組表を見る

## 視聴予約の設定

1 放送視聴中に **番組表** を押します。

視聴したい番組を選び、決定ボタンを押して番組詳細画面を開きます。



2 番組説明を確認して、▲で【繰り返し設定】や【番組追従】に移動し、決定ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

3 設定内容を選択し、決定ボタンを押す。

- ・ 繰り返し設定：  
 今のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土
- ・ 番組追従： する/しない

4 「視聴予約」を選択し、決定ボタンを押します。

5 予約完了画面が表示されます。

番組表の予約した番組ボックスに青い🕒マークが付きます。

6 ※ 番組情報が受信されていない場合はご利用できません。しばらく経ってからやり直してください。

### ご注意

予約番組の時刻に電源が切れていると予約が実行されません。電源を入れるか、スタンバイ状態でご利用ください。

- 例：
- ・ 停電や電源ケーブルが外れ、電源が途絶えた後やその後電源を入れなおす前
  - ・ 電源ボタンを長押ししシャットダウンした時

## 視聴予約の変更

1 予約済み番組を選び、決定ボタンを押します。

2 ▲で繰り返し設定や番組追従に移動し、▼▲と決定ボタンで設定を変更してください。

3 【変更して予約】を選択し、決定ボタンを押すと、「この番組を視聴予約しました」と表示され、変更を完了します。番組表の予約した番組のボックスに青い🕒マークが付きます。

## 視聴予約の取り消し

1 予約した番組を選び、決定ボタンを押す。

2 【予約取消】を選択して決定ボタンを押す。

3 「選択した予約を削除しますか」という確認メッセージが表示されますので、【確認】を選ぶと、当該予約が削除されます。【キャンセル】を選ぶと削除を取りやめます。

4 番組表の予約した番組のボックスの青い🕒マークが消えます。

# 番組表を見る

## 時間指定視聴予約

放送視聴中に **ツール** を押して、「録画機能」⇒「予約リスト」を選び、予約リストを開きます。



1

**青** を押して、新規予約画面を開きます。



2

3

▲▼◀▶と決定ボタンで時間や繰り返し設定の予約条件を指定した上で、「視聴予約」を選択し、決定ボタンを押します。

# データ放送を楽しむ

## データ放送について

- デジタル放送では、テレビ放送以外にデータ放送もあります。
- データ放送には、番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

## デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットを利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加したり、アンケートに回答したりすることができます。(電話回線を利用した双方向サービスには対応していません)

## 連動データ放送を楽しむ

**データd** を押す。

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

# 1

# 2

データ放送を終了するには、**データd** を押し  
ます。

# 入力切替メニューを使う

- 外部入力端子 (HDMI1 ~ 3、ビデオ入力) に接続したDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生内容を視聴したり、ゲーム機器を接続する場合や、外部入力からテレビ放送、ホーム画面に戻るときに使用するメニューを説明します。



## 外部入力に切り換える

使用する機器の電源を入れる。

# 1

**入力切替** を押す。

# 2

視聴したい項目を選択して、決定ボタンを押す。

- ・ Google TV ホーム … スマートテレビのホーム画面に移動します。
- ・ 地デジ … 地上デジタル放送を視聴します。
- ・ BS … BS デジタル放送を視聴します。
- ・ CS … 110度 CS デジタル放送を視聴します。
- ・ AV … AV 入力 (アナログ入力) を視聴します。
- ・ HDMI1 ~ HDMI3 … HDMI 入力を視聴します。  
接続機器によって、名称が変化することがあります。

# 3

※JL32G7EG は HDMI3 を装備していません。

# 外部機器をBluetoothで接続する



- 本製品にBluetoothスピーカーなどを接続して利用できます。
- テレビ録画用USBハードディスクの接続については「録画・予約について」以降を参照してください。

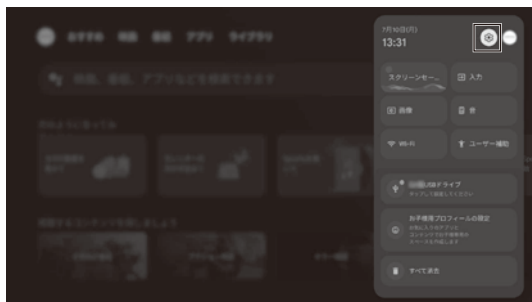
## ご注意

- 対応機器の案内および接続互換性については保証対象外となります。自己責任のもとご利用ください。
- 製品および接続機器のアップデートにより、使えていた機器が繋がらなくなることがあります。

## Bluetooth機器を接続する

- Bluetooth接続の機器を接続して使用することができます。

リモコンの  を押し、通知メニューから  を選択して決定ボタンを押す。



1

2 「リモコンとアクセサリ」を選択し、決定ボタンを押す。

3

接続したいBluetooth 機器をペアリング待機状態にします。ペアリング待機にする方法は各Bluetooth 機器の取扱説明書などを参照してください。

4

「アクセサリのペア設定」を選択し、決定ボタンを押して待つと、ペアリング待機中の機器の一覧が表示されます。

5

表示された名称から、接続したい機器を選択し、ペアリングします。ペアリング中に4桁のPINコード（接続コード）を要求された場合は表示に従って入力してください。

6

接続が完了すると、アクセサリ欄に機器が追加されます。

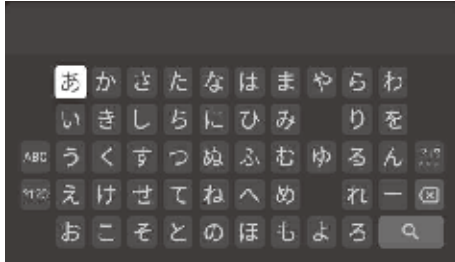
# 文字を入力する

Google アカウント上での各種文字入力などにスクリーンキーボードを使用します。

▲▼◀▶を使って表示に従って操作します。スクリーンキーボードを異なる言語に設定する方法の詳細については、「スクリーンキーボードの設定」を参照してください。

## スクリーンキーボードを使用する

文字入力フィールドを選択して決定ボタンを押すと、スクリーンキーボードが表示されます。




### 文字種を選びます。


- キーボード左端の文字種を選択し、入力したい文字種を選びます。
- 日本語の文字を入力するときは文字種「あい」を選択してください。
- 英数字を入力する場合は、文字種「ABC」を選び、キーボードの を押して小文字と大文字を切り替えてください。
- 記号を入力するには、文字種「?123」を選択してください。

1

キーボードから文字を選択し決定ボタンを押す。

- 文字を削除する時は  を選んで決定ボタンを押す。決定ボタンを繰り返し押すことで 1 文字ずつ削除できます。
- さらに文字を入力するには、上記操作を繰り返します。
- キーボード上部に予測変換の結果が表示されます。入力したい単語を選択し決定すると追加できます。

2

文字入力を完了するには▲▼◀▶を押して、 を選択してから決定ボタンを押します。


3

## スクリーンキーボードの設定

キーボード言語の変更や、新しいキーボードの追加、仮想リモートキーボードの有効化など、スクリーンキーボードの設定ができます。

1

リモコンの  を押す。

 ⇒ 「システム」⇒ 「キーボード」の順に選び、決定ボタンを押します。

- キーボードオプションが表示されます。



2

設定したい項目を▲▼を押して選択し、決定ボタンを押します。

3

- 画面の指示に従って設定を進めてください。

※ 上記内容はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。



# 便利な機能を使う

## 音声・字幕・映像を切り替える

### 音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組では、主音声、副音声、主：副を切り替えることができます。

1 **音声** を押す。

選択したい音声を選択し、決定ボタンを押す。



2 ※ 受信している番組によって、表示内容は異なります。

### 字幕を切り替える

1 **字幕** を押す。

選択したい字幕を選択し、決定ボタンを押す。



※ 受信している番組によって、表示内容は異なります。

- ・字幕  
「オン」や日本語を選ぶと字幕放送があれば、字幕が表示されます。  
オン/オフを選択し、決定ボタンを押す。

- ・文字スーパー表示  
文字スーパー表示を選択し、決定ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

※ 字幕がない、または選択した言語の字幕がない場合、「字幕表示」を「オン」に設定しても字幕は表示されません。

※ 文字スーパーは、緊急警報時など、表示を「オフ」に設定していても、無条件に表示します。これは緊急性の高い情報を表示するためです。

2

## 映像・音声・字幕を切り替える

複数の映像や音声、字幕がある場合があり、お好みで選択することができます。

1 **ツール** を押し、「視聴設定」を選択し決定ボタンを押す。



1

切り替えたい項目を選び、決定ボタンを押す。



- ・字幕 … 字幕表示を切り替えます
- ・映像切替 … 映像を切り替えます
- ・音声切替 … 音声を切り替えます
- ・オーバースキャン … ノイズの入りやすい映像外縁部をカットして表示する機能を切り替えます。
- ・ラジオ・データ表示 … チャンネルリストや番組表にラジオ・データ放送を表示する機能を切り替えます。
- ・画面表示常時表示 … 画面表示（チャンネル情報表示）を常時表示する機能を切り替えます。

2

変更したい字幕、映像、音声を選び、決定ボタンを押す。

3

- 字幕、音声切替はリモコンのボタンから設定できる項目と共通です。

## チャンネル情報を表示する

1 **画面表示** を押すと画面右上にチャンネル情報が表示されます。

2 もう一度 **画面表示** を押すと表示が消えます。

## 消音する

1 **消音** を押すと、消音状態になります。

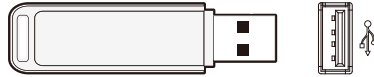
2 消音状態を解除するには、もう一度 **消音** を押すか、**音量+** を押してください。

# メディアプレイヤーを使用する

- MediaPlayer を使用して、外部の記憶装置 (USB メモリーや USB ハードディスクなど) に保存されている写真の閲覧、音楽の視聴、またはビデオの鑑賞ができます。

## メディア再生

写真、ビデオ、音楽を含むUSBデバイスをテレビのUSB端子に接続します。



TV 本機側面 メディア再生用 USB端子へ接続

※ 本機には、メディア再生用USB端子に加え、下部に録画用USB端子があります。接続する場所を間違えないようにしてください。

## 1 リモコンの を押す。

▲▼◀▶を押して、「アプリ」⇒「すべて表示」⇒マイアプリ画面の【Media Player】を選択し、決定ボタンを押すと、メディア再生画面が表示されます。



## 2 ◀▶を押して、「ビデオ」、「画像」、または「音楽」を選択し、決定ボタンを押す。

- ## 3
- ・該当する一覧画面が表示されます。
  - ・ファイルやフォルダで録画した番組は再生することができません。
  - ・Media Playerアプリで、録画したテレビ放送番組を再生することはできません。

## ●サポートされているファイル形式

動 画： VP9, HEVC, MPEG1/2, MPEG4, H.263, H.264, VC1, VP8, AV1

画 像： jpg, jpeg, bmp, png, gif

音 楽： MPEG1/2 Layer 1, MPEG1/2 Layer 2, MPEG1/2/2.5 Layer 3, AC3(DD), EAC3(DDP), AAC-LC, FLAC, WAV

- ※ 著作権保護によってプロテクトされているファイルは再生できません。
- ※ 上記条件を満たすファイルであっても再生を保証するものではありません。
- ※ ファイルによっては、字幕やチャプターの機能が使えない場合があります。

# 録画機能について

## 録画できる機器と番組

- テレビ下部の録画用 USB 端子に接続した USB ハードディスクにテレビ放送番組を録画することができます。(ラジオ放送、およびデータ放送、外部入力 (HDMI1 ~ HDMI3 など) は、録画できません。)
- 本機は、デジタル放送の 2 番組同時録画、または予約録画はできません。
- パソコン等の機器で使用していたハードディスクを本機に登録すると、保存されていたデータは、すべて削除されます。

※ JL32G7EG は HDMI3 を装備していません。

## USB ハードディスクの接続

- 接続できるのは 1 台だけです。USB ハブは対応していません。



- ※ 本機には、録画用USB端子に加えて側面側にメディア再生用USB端子があります。接続する端子を間違えないようにしてください。
- ※ USBハードディスク専用のACアダプターを使用してください。

## ご注意

- ハードディスクの動作中に電源を切ったり取り外したりすると、内容の消失やハードディスクの故障のおそれがあります。
- 録画中に停電や電源プラグ、USBケーブルの取り外しが発生した場合、録画データは保存されません。
- 本機の故障または故障による修理、受信障害などによる録画データの消失や欠損などに対し、保証はいたしかねます。
- すべてのUSBハードディスクには対応していません。
- 本機で登録したハードディスクは他のテレビやパソコンでは使用できません。
- 使用状況によりUSBハードディスクは数年で故障する可能性がありますので一時的な保存、再生機能としてご利用ください。
- 本機で録画したデータは、他のパソコンやテレビに接続しても視聴できません。
- システム領域として一部容量を使用するため、全容量を録画に使用することはできません。
- 私的利用の範囲を除き、コンテンツ保有者またはサービスプロバイダーから認可されていない方法で録画番組を使用することは禁じられています。
- いかなる方法または媒体において、録画した番組の修正、複製、再配布、アップロード、投稿、転送または販売は禁じられています。
- 著作権法違反は刑事罰に問われる可能性があります。著作権の侵害によるいかなる損害の責任に対し負いかねますので、自己責任のもとご利用ください。
- 録画予約の最大件数は 32 件、視聴予約の最大件数は 16 件、合わせて 48 件になります。
- コピー制限のある番組は録画できません。
- 録画中に、本機やハードディスクの電源をオフ (停電なども含む) にしたり、USB ケーブルを抜き差しすると、本機やハードディスクの故障の原因になります。ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。
- 本機に登録していないハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、接続を確認してください。
- 本機では 1 回につき 1 チャンネルしか予約できないため、予約の時間帯が重なった視聴予約タスクは実行されません。
- データチャンネル、ラジオ放送、未契約チャンネル (無料番組を除く) の予約・録画には対応していません。
- 予約番組の時刻に電源が切れていると予約が実行されません。電源を入れるか、スタンバイ状態でご利用ください。  
例：・ 停電や電源ケーブルが外れ、電源が途絶えた後やその後電源を入れなおす前  
・ 電源ボタンを長押ししシャットダウンした時

## 重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって、録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

## ハードディスクの登録情報

ハードディスクの登録情報および録画データは、システムリセットの実施後も初期化されません。

## 録画可能時間の目安

リモコンの **ツール** を押し、「テレビ設定」⇒「録画機能」⇒「USB-HDD 設定」⇒「HDD 情報」からハードディスクの残量を確認することができます。録画可能時間は表示される時間よりも少なくなる事があります。

# 録画機能について

## USBハードディスクをテレビに登録する

ハードディスクの登録を行います

テレビ本体の USB 端子にハードディスクを接続します。

USB 端子はメディア再生用と録画用の2つあります。録画用 USB ハードディスクは、録画用 USB 端子(本体下部)に接続してください。

テレビを視聴中の場合に、下記 USB-HDD 登録画面が表示されます。



- 「はい」を選択すると登録が実行されます。(登録に数分かかる場合があります)

※ ハードディスク内の全てのデータが削除されます。



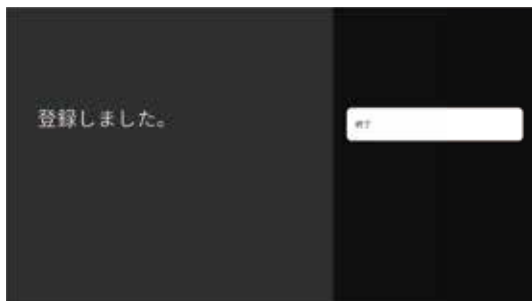
- 「いいえ」を選択すると、登録がキャンセルされます。

1

登録完了後、画面に「登録しました」というメッセージが表示されます。

2

「終了」を選択して決定ボタンを押し、登録を完了させます。



3

## USBハードディスクの設定をする

ツール を押し「テレビ設定」⇒「録画機能」⇒「USB-HDD 設定」の順に選択し、決定ボタンを押すと、USB-HDD 設定メニューが表示されます。

## HDD情報

接続しているハードディスクの情報を確認できます。

USB-HDD情報を選択すると詳細なHDD情報が確認できます。

- USB-HDD名 …登録されたハードディスクの名前を表示します。
- USB-HDDの状態 …ハードディスクの接続状態を確認できます。
- 総容量 …総容量を確認できます。
- 使用容量 …使用済の容量が表示されます。
- 録画可能残時間 …録画可能な残時間を表示します。

- 使用容量は録画による使用量の他、システム領域による録画不可能な容量等を全て含めた量が表示されるため10パーセントほど使用済として扱われます。

1

## 初期化

ハードディスクを初期化し、記録済みの内容をすべて削除します。

画面指示に従い「はい」を選択すると初期化が開始されます。

- 初期化処理中にハードディスクを取り外したり、電源を切ったりすると故障のおそれがあります。

## 登録解除(HDD登録解除)

- ハードディスクを8台登録後に新規登録したい場合、未使用の登録済ハードディスクを解除してから再登録します。
- 登録解除を行うと、USB ハードディスク内の録画番組は視聴できなくなります。

画面の指示にしたがい「はい」を選択すると登録が解除されます。

## 取り外し (HDD取り外し処理)

- ハードディスクを取り外す時には、事前にこの「取り外し」処理を実行してください。
- この処理を行わずに取り外すと、認識に時間がかかったり、記録済みデータが欠損することがあります。

「取り外し」を選択後、「安全に取り外しました。」の表示が出るまで待ってからハードディスクを取り外してください。

## 重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって、録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

# 録画機能について

※Google OSで認識できないフォーマット形式のHDDは以下のフォーマット手順が必要になります。

**1** 「USB-HDD登録」→「ストレージ設定へ」を選択します。



**2** 「xxx製USBドライブ」→「デバイスストレージとしてセットアップ」→「フォーマット」→「後で移動」を選択します。



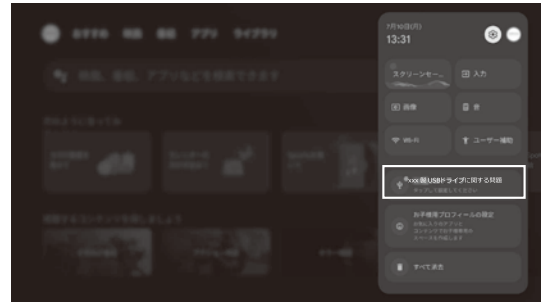
**3** 「データを削除してリムーバブルストレージとしてフォーマット」→「フォーマット」→「OK」の順で選択します。



**4** 「USB-HDD登録」が表示されたら「はい」→「終了」でフォーマットが完了になります。

※2TBを超えるNTFSフォーマットされたHDDは以下のフォーマット手順が必要になります。

**1** 「USB-HDD」の画面が表示されている場合は、リモコンの戻るボタンで画面を閉じます。



**2** リモコンの(⚙)を選択し、「xxx製USBドライブに関する問題」を選択します。



**3** 「デバイスストレージとしてセットアップ」→「フォーマット」を選択します。

**4** 画面が切り替わったら、リモコンの戻るボタンを選択します。

**5** 「USB-HDD登録」画面が表示されたら「ストレージ設定へ」→「xxx製USBドライブ」を選択します。



**6** 「データを削除してリムーバブルストレージとしてフォーマット」→「フォーマット」→「OK」の順で選択します。

**7** 「USB-HDD登録」が表示されたら「はい」→「終了」でフォーマットが完了になります。

# 録画・予約をする

## 見ている番組を録画する

視聴中の放送番組を録画します。

- 1 **録画** を押す。  
「**録画**」を押すと視聴中の番組の録画が開始されます。

## 番組表から録画する


- 1 **番組表** を押して番組表を開きます。

録画したい現在放送中の番組を選び、決定ボタンを押して、番組詳細画面を開きます。

- 2 

録画条件を指定した上で、【録画する】を選択し、決定ボタンを押す。

録画する : 録画します。  
選局する : チャンネルを切り換えます。  
戻る : 番組表に戻る

- 3 ※同時に1チャンネルしか録画できません。  
※「番組追従」録画機能を使用すると、予約した番組の最後まで、自動で録画時間を延長して録画されます。  
※録画を中止する場合、テレビ視聴画面で  を押して画面指示に従って操作してください。

## 番組表による録画予約

- 1 **番組表** を押して番組表を開きます。

録画したい放送の番組を選び、決定ボタンを押して、番組詳細画面を開きます。

- 2 


録画条件を指定した上で、【録画予約】を選択し、決定ボタンを押す。

- 3 ※視聴予約中の番組を録画予約することはできません。

## 録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。

### 見ている番組を録画中のとき

- 1  を押す。  
録画を中止するメッセージが表示されます。
- 2 録画を停止したいチャンネルを選択し、決定ボタンを押す。
- 3 【中止】を選択し、決定ボタンを押す。
- 4 【録画リスト】または【確認】を選択し、決定ボタンを押す。

# 録画・予約をする

## 録画する日時を指定して録画予約する

1

**ツール**を押して、「録画機能」⇒「予約リスト」を選び、予約リスト画面を開きます。

**青**を押して、新規予約画面を開きます。



2

3

▲▼◀▶で時間や繰り返し設定の予約条件を指定し、「録画予約」を選択して決定ボタンを押す。

## 録画した番組を削除する

1

**録画リスト**を押す。  
録画リストが表示されます。

2

削除する番組を選び、**赤**を押す。  
確認メッセージが表示されます。  
「確認」を選ぶと、当該録画データが削除されます。  
「キャンセル」を選ぶと、削除を中止します。

## オートチャプター設定

録画した番組にチャプターマークを付ける設定ができます。本機のオートチャプター機能のデフォルト設定は「10分」です。以下の手順で本設定を変更します。

1

**ツール**を押して、「録画機能」⇒「オートチャプター設定」を選び、オートチャプター設定画面を開きます。

2

時間間隔を選び、決定ボタンを押す。

3

設定が終わったら、**戻る**で設定を完了させます。

## 予約・録画の優先順位について

- 予約録画と他の録画などが重なった場合、予約録画が優先され、他の録画は正しく保存されません。
- 予約が重なる場合は、後から始まる番組の予約は実行されません。予約開始時刻の早い番組を優先



- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。

### ご注意

予約の時刻に電源が切れていると予約は実行されません。電源を入れるか、スタンバイ状態（電源を入れると数秒で起動する状態）でご利用ください。

予約が実行されない例：

- ・ 停電や電源ケーブルが外れ、電源が途絶えた後やその後電源を入れなおす前
- ・ 電源ボタンを長押ししシャットダウンした時

# 録画した番組を再生する

## 録画番組を再生する

### 再生の基本操作

1 **録画リスト** を押すと録画リストが表示されます。

▲▼で「すべて」「未視聴」「視聴済」などに移動することができます。



2

見たい番組を選択し、決定ボタンを押すと再生が始まります。

- ・ 選んだ番組の再生が始まります。
- ・ 番組の最後まで再生が終わると、録画リストに戻ります。
- ・ 再生中、リモコンで下記の操作ができます。

| ボタン | 内容   |
|-----|--|
|     | 一時停止や早送り / 早戻し再生から通常再生に戻ります。<br>テレビ番組の視聴中に押すと、録画一覧が表示されます。 |
|     | 再生中に押すと一時停止になります。  |
|     | 再生を停止し、録画一覧に戻ります。  |
|     | 早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります。)                                 |
|     | 早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります。)                                 |
|     | 前のチャプターまでスキップします。  |
|     | 次のチャプターまでスキップします。  |

3

※録画中に録画された別番組を再生する場合には、正しく動作しないことがあります。

※ 番組によっては、一時停止やスキップなどの操作により映像や音声为正しく再生されない場合があります。

4

再生を停止させるには、 を押す。

- ・ 録画リスト画面に戻ります。
- ・ 録画リスト画面で を押すと、テレビ視聴画面に戻ります。

#### ご注意

- USBハードディスクの認識に時間がかかり、すぐに録画リストが開かない事があります。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。
- USBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜き差しすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因になります。
- 本機の故障や故障による修理、受信障害などによって、録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。



# テレビ設定

## 設定画面

TV放送視聴画面で **ツール** ボタンを押すと、テレビ設定が表示されます。



各テレビ設定 MENU では、▲▼◀▶⏪ 決定 ボタンで操作し、以下の設定が行えます。

※ 設定状況やシステムアップデートにより、表示や内容が変更されることがあります。詳しくは画面の表示をご確認ください。



| 視聴設定      | 機能  |
|-----------|---|
| 字幕        | 字幕放送対応の放送の場合、字幕を表示することができます。<br>放送に字幕データが含まれていない場合は、字幕、文字スーパー共に表示されません。 |
| 映像切替      | 複数の映像が含まれる番組の場合、映像を切替えることができます。   |
| 音声切替      | 複数の音声が含まれる番組の場合、音声を切替えることができます。   |
| オーバースキャン  | 周辺部の映像の歪みや、ノイズを表示しないように周辺部をカットする機能を設定できます。                              |
| ラジオ・データ表示 | チャンネルリストや番組表画面にラジオ放送チャンネルやデータ放送チャンネルを表示する機能を設定できます。                     |
| 画面表示常時表示  | 画面表示を常時行う設定ができます。   |

| 録画機能       | 機能                                     |
|------------|--|
| 録画リスト      | 録画番組を確認、再生、削除等を行えます。                   |
| 予約リスト      | 録画・視聴予約の確認、変更、取り消しなどを行えます。             |
| USB-HDD設定  | 録画用 USB-HDD（ハードディスク）の登録、設定、取り外し等を行えます。 |
| オートチャプター設定 | 録画番組にチャプターマークをつける設定ができます。              |

| 機能設定        | 機能   |
|-------------|--|
| 信号レベル       | 放送信号の受信状態を確認することができます。                                     |
| チャンネル番号設定   | お好みのチャンネルを「1」～「12」のボタンに割り当てることができます。                       |
| チャンネルスキップ設定 | チャンネル ▲▼ ボタンによるチャンネル切替の際にスキップするチャンネルを設定できます。               |
| 暗証番号設定      | 視聴制限設定を行う為の暗証番号を登録することができます。                               |
| 視聴制限設定      | 放送番組ごとに視聴年齢が設定されている場合に制限を行う設定を行えます。<br>暗証番号を設定したのちご利用ください。 |
| 無信号オートパワーオフ | 放送信号や外部入力機器からの信号がない場合、自動的にテレビを待機状態に移行する設定ができます。            |

| 本体情報     | 機能  |
|----------|---|
| お知らせ     | 放送局や本機からのお知らせがあった場合の内容を確認できます。  |
| 個人情報初期化  | 初期化を行い、設定した項目をお買い上げ時の設定に戻すことができます。<br>テレビ関連の設定のみ削除されます。<br>Google 関連の設定情報は、設定→システム→デバイス情報→リセットの項目で“出荷時設定にリセット”を選択することで実施されます。 |
| ソフトウェア情報 | テレビアプリの本体情報、BCASカード情報、ライセンス情報を確認することができます。  |

# 各種設定

● リモコンの  を押し、通知メニューから  を選択すると、各種設定を行えるメニューが表示されます。

※ 下記設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。  
また、視聴中のコンテンツの内容、入力信号の状態等により表示される内容、選択できる内容が異なる場合があります。



| 設定項目        | 設定内容           |  |
|-------------|----------------|--|
| デバイス名の設定    | 本機の名前の設定を行います。 |  |
| チャンネルと入力    | チャンネル          | 下記受信関係の設定を行います。                                  |
|             | 郵便番号設定         | 郵便番号の登録を行います。                                    |
|             | 地域             | 地域の登録を行います。                                      |
|             | 地上スキャン         | 地上デジタル放送のスキャンを行います。                              |
|             | 受信感度調整         | アッテネータ設定を行います。                                   |
|             | BS/CS アンテナ電源   | BS/CS アンテナへの電源供給設定を行います。                         |
|             | 入力             | 外部入力の設定を行います。                                    |
|             | HDMI3          | 入力の表示、表示名設定を行います。※JL32G7EG はHDMI3 を装備していません。     |
|             | HDMI2          | 入力の表示、表示名設定を行います。                                |
|             | HDMI1          | 入力の表示、表示名設定を行います。                                |
|             | Composite      | 入力の表示、表示名設定を行います。                                |
|             | HDMI 制御        | HDMI 制御設定を行います。                                  |
|             | CEC デバイスリスト    | HDMI CEC 接続デバイスの表示を行います。                         |
|             | ディスプレイと音       | 画像   |
| 画像モード       |                | 画像モードを選択します。                                     |
| バックライト      |                | バックライトの設定を行います。                                  |
| 明るさ         |                | 明るさを調整します。                                       |
| コントラスト      |                | コントラストを調整します。                                    |
| 彩度          |                | 彩度を調整します。  |
| 色調          |                | 色調を調整します。  |
| シャープネス      |                | シャープネスを調整します。                                    |
| 詳細設定        |                | より詳細な画像設定を行います。                                  |
| デフォルトに戻す    |                | 画像設定を初期値に戻します。                                   |
| 画面          |                | 視聴中の映像に適した画面サイズ設定を行います。                          |
| 音           |                | 下記の音声設定を行います。                                    |
| サウンドスタイル    |                | 好みのサウンドスタイルに設定します。                               |
| バランス        |                | 左右のスピーカーの音量バランスの設定を行います。                         |
| 低音          |                | 低音をおこのみに合わせて設定します。                               |
| 高音          |                | 高音をおこのみに合わせて設定します。                               |
| サウンドサラウンド   |                | 音声ステレオの場合に音が広がりを与えることができます。                      |
| イコライザーの詳細   |                | 各周波数帯で調整が可能です。                                   |
| スピーカー       |                | スピーカーからの音声出力設定を行います。                             |
| スピーカーの遅延    |                | スピーカーからの音声出力の遅延設定を行います。<br>映像と音声の同期を合わせる際に使用します。 |
| 音量の自動調整     |                | 音量の自動調整機能の設定を行います。                               |
| ダウンミックスモード  |                | ダウンミックス処理の設定を行います。                               |
| ドルビーオーディオ処理 |                | ドルビーオーディオ処理の設定を行います。                             |
| ダイアログエンハンサー |                | セリフなどの人の声を聴こえやすくする設定を行います。                       |
| デフォルトに戻す    |                | 画像設定を初期値に戻します。                                   |
| オーディオ出力     |                | デジタルオーディオ出力の設定を行います。                             |
| デジタル出力      |                | 接続機器に応じて出力の種類の設定を行います。                           |
| SPDIF デイレイ  |                | 環境、接続機器に適した遅延量の設定を行います。                          |

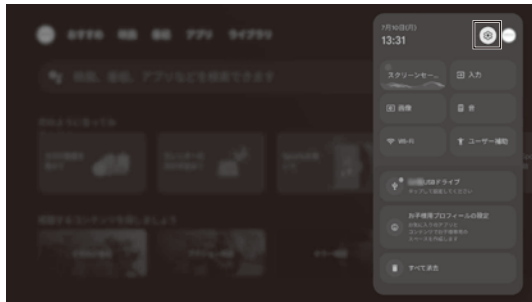
# 各種設定

| 設定項目                 | 設定内容   |
|----------------------|--|
| ネットワークとインターネット       | ネットワークとインターネット接続の設定を行います。  |
| Wi-Fi                | Wi-Fi ネットワーク接続の設定を行います。  |
| 新しいネットワークを追加         | 手動にてネットワークを追加できます。   |
| データセーバー              | データ使用量を節約する為の設定を行います。  |
| データ使用量と通知            | データ使用量の確認を行えます。  |
| 常にスキャン               | 常時ネットワークをスキャンする設定を行えます。  |
| 未接続                  | 有線のネットワークの接続状態を表示します。  |
| プロキシ設定               | プロキシの設定を行えます。  |
| IP 設定                | IP アドレスの設定を行えます。   |
| 復帰の設定                | 復帰の設定を行えます。  |
| アカウントとログイン           | Google TV のアカウント登録、変更、設定等を行います。  |
| 設定のロック               | アカウント設定をロックし、編集の制限を行います。   |
| サービス                 | おすすめコンテンツに使用するサービスを選択します。  |
| コンテンツの設定             | おすすめコンテンツの表示精度の設定を行います。  |
| 予告編の自動再生             | 予告編の自動再生の設定を行います。  |
| 非表示の購入またはレンタルしたコンテンツ | 特定のコンテンツを非表示する場合の設定です。   |
| 支払いと購入               | GooglePlay での購入時の支払い設定を行います。   |
| Google アシスタント        | Google アシスタントの設定を行います。   |
| アプリ専用モード             | ホーム画面での Google のおすすめ表示を行わない設定です。   |
| 削除                   | Google のアカウントを削除します。   |
| アカウントを追加する           | 本製品で使用するアカウントを追加できます。  |
| 子どもを追加する             | 本製品で使用する子どものアカウントを追加できます。  |
| プライバシー               | プライバシー設定を行います。   |
| 位置情報                 | 現在地確認の設定を行います。   |
| 使用状況と診断              | 使用状況データや障害レポートの自動送信の設定を行います。   |
| 広告                   | 広告 ID のリセットを行います。  |
| Google アシスタント        | Google アシスタントの設定を行います。   |
| お支払とご購入              | GooglePlay での購入時の支払い設定を行います。   |
| アプリの権限               | アプリケーションの権限の確認と設定を行います。  |
| 特別なアプリアクセス           | 特別な権限が必要なアプリの確認と設定を行います。   |
| セキュリティと制限            | 提供元不明のアプリのインストール許可の設定を行います。  |
| アプリ                  | 本機に登録済みアプリの設定、管理を行います。   |
| アプリをすべて表示            | 全てのアプリを表示します。  |
| アプリの権限               | アプリケーションの権限の確認と設定を行います。  |
| 特別なアプリアクセス           | 特別な権限が必要なアプリの確認と設定を行います。   |
| セキュリティと制限            | 提供元不明のアプリのインストール許可の設定を行います。  |
| システム                 | Google TV のシステム設定を行います。  |
| ユーザー補助               | 字幕、テキスト読み上げ等のユーザ補助機能の設定を行います。  |
| デバイス情報               | システムアップデート、デバイス名設定、リセット等を行います。<br>※リセットするときUSB HDDの登録情報も消去されるため、以前にUSB HDDに録画した番組が見られなくなります。また、再度USB HDDを使用する場合は、フォーマットを行う必要があります。 |
| 日付と時刻                | 日付と時刻設定を行います。  |
| 言語                   | メニュー言語の設定を行います。  |
| キーボード                | スクリーンキーボードの設定を行います。  |
| ストレージ                | メモリの使用容量等の情報を確認できます。   |
| 背景モード                | 背景モードの設定を行います。   |
| 電源と省エネ設定             | 電源オン時の画面やスリープタイマー等の設定を行います。  |
| キャスト                 | キャスト中のメディアを他のデバイスで操作する設定を行います。   |
| システム音                | システム音の設定を行います。   |
| 販売店モード               | 店頭表示用設定を行います。  |
| 再起動                  | 再起動を行います。  |
| リモコンとアクセサリ           | 付属リモコン及び Bluetooth 機器との接続設定を行います。  |
| ヘルプとフィードバック          | Google TV へのフィードバックとヘルプの案内情報です。  |

# 各種設定

## チャンネル設定

リモコンの  を押し、通知メニューから  を選択して決定ボタンを押す。



1

「チャンネルと入力」⇒「チャンネル」⇒「郵便番号設定」を選択し、決定ボタンを押す。



2

お住いの郵便番号を設定します。

3

「地域」を選択し、決定ボタンを押す。

4

お住いの地域を設定します。



5

## 地上波デジタル放送スキャン

「地上スキャン」を選び、決定ボタンを押して、地上スキャン画面を開きます。この画面で地上波放送の受信可能な放送をスキャンします。



1

「初期スキャン」、または「再スキャン」を選びます。決定ボタンを押すとスキャンが開始されます。

- ・初期スキャン … チャンネルリストを削除し、受信可能なチャンネルをスキャンし直します。
- ・再スキャン … 現在のチャンネルリストを残し、追加や変更されたチャンネルのみ更新します。

2

スキャンが完了すると更新したチャンネルリストが表示されます。

3

## 地上波デジタル放送スキャン 帯域設定

スキャン帯域の設定を行います。

全帯域を選び 決定ボタンを押すと全帯域スキャンがオン、オフに切り替わります。オフの場合は、UHF 帯域のみスキャンします。

## 受信感度調整

放送の電波が強すぎる為、不安定な受信になることがあります。このような時は、受信感度を調整することで改善できる場合があります。

アッテネータ「有効」または「無効」を選択し決定ボタンを押してください。通常は「無効」（感度調整を行わない）設定で使用ください。



# 各種設定

## BS/CSアンテナ電源

BS/CS アンテナへの電源供給の設定を行います。  
BS/CS アンテナを接続しない場合や、別の機器からアンテナへ電源を供給する場合は「オフ」としてください。本機よりアンテナへ電源を供給する場合は「オン」としてください。



## 入力



HDMI 入力などの外部入力の様々な設定が行えます。  
詳しくは、画面の表示を参照下さい。



## システム設定

さまざまな Google TV の設定ができます。

- 一部の設定はシステムソフトウェアの更新によって変更、削除、追加されることがあります。

- 1 リモコンの  を押す。
- 2  ⇒ 「システム」の順に選び、決定ボタンを押す。

## システム

- ユーザー補助  
字幕、高コントラスト、テキスト、ユーザー補助のショートカットなどを設定します。
- デバイス情報  
システムアップデート、デバイス名リセット、ステータス、法的情報などを確認することができます。
- 日付と時刻  
日時を設定します。自動同期するか手動で日付と時刻を設定するか選択できます。24 時間形式を設定することもできます。
- 言語  
メニュー言語を「English」と「日本語」から選択できます。選択したメニュー言語は音声認識言語としても設定されます。
- キーボード  
スクリーンキーボードの設定をします。  
キーボードにシステム言語を使用するか、キーボードに他のアクティブ言語を使用するか選択できます。
- ストレージ  
テレビメモリの表示、総メモリ、キャッシュの占める容量、アプリケーションの占める容量、画像、ビデオ、オーディオなどが占める容量などが表示されます。
- 背景モード  
背景モード中に表示するスクリーンセーバーの設定を表示します。
- 電源と省エネ設定  
電源オン時の画面や自動スタンバイなど省エネ設定をします。
- キャスト  
キャスト中のメディアを無線ネットワークでつながった他の Android スマートフォンで操作できるように設定します。
- システム音  
システムから出力される音を設定します。
- 販売店モード  
販売店モードを選択すると、店頭表示用の設定ができます。
- 再起動  
テレビを再起動します。

※ これらの設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新等により、内容が異なる場合があります。  
また、視聴中のコンテンツの内容、入力信号の状態等により表示される内容、選択できる内容が異なる場合があります。

# 各種設定




## 設定の初期化

すべての設定やソフトウェアを工場出荷時の設定に戻します（すべての設定を初期化します）。

### ご注意

- 初期化は、テレビを他の人に引き渡す場合や、テレビを破棄する場合にのみ実行してください。
- 初期化すると、テレビに記録されているすべての個人情報が消去されます。個人情報とは、双方向データ通信サービスなどで登録した情報や獲得ポイント、位置情報、Google アカウント、アプリの設定やデータ、ダウンロードしたすべてのデータを指します。
- 録画に使用したUSBハードディスクの登録情報は消去されません。消去したい場合は登録解除を実施してください。
- 過去にこのテレビで行った、双方向のデータ放送で放送局に登録されている情報や、アプリからコンテンツプロバイダに登録された情報などは消去されませんので各サービスにて、必要に応じて会員登録や契約の解約、解除などを行ってください。

## リセット

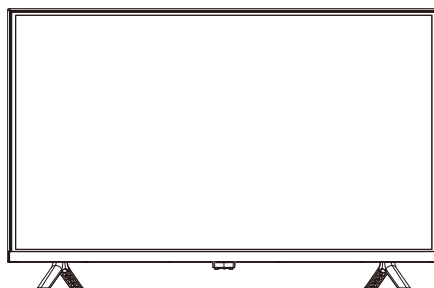
- 1 リモコンの  を押す。
- 2  ⇒ 「システム」 ⇒ 「デバイス情報」 ⇒ 「リセット」の順に選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼を押して「出荷時設定にリセット」を選択し、決定ボタンを押す。  
▲▼を押して「すべて消去」を選択し、決定ボタンを押す。  
画面の指示に従って操作してください。  
画面が消えますので「初期設定」画面が表示されるまでテレビの電源を切らないでください。テレビに不具合が発生します。初期化を中止する場合は「キャンセル」を選択するか、 を押してください。
- 5 テレビは自動的に電源オフになり、再起動後に「Google TV」画面が表示されます。その後、リモコンから電源をオフにしてください。

# 困ったときは

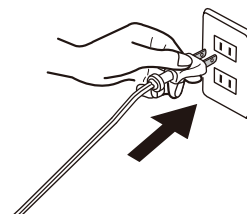
次のような場合は、故障でないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。  
**ご確認ください**

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下をご確認してください。

アンテナは正しく  
つながっていますか？



電源プラグは正しく  
つながっていますか？



## このような場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点がある  
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする  
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする  
本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

## 本製品全般

| 症状          | 原因や対処の仕方  |
|-------------|---|
| 電源が入らない     | ○電源プラグがコンセントから抜けていませんか？<br>→ 電源コードの接続を確認してください。   |
| リモコンが操作できない | ○リモコンを受光部に向けていますか？<br>○お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？<br>→ リモコン受光部に強い光を当てないでください。<br>○乾電池が消耗していませんか？<br>→ 新しい乾電池に交換してみてください。<br>○乾電池の極性(+-)が逆になっていませんか？<br>→ 正しく入れ直してください。<br>○テレビ本体の電源ボタンでOFFにしていますか？<br>→ テレビ本体の電源ボタンでOFFにした場合、リモコンでの操作を行うことが出来ません。 |
| 突然電源が切れた    | ○オフタイマーを設定していませんか？<br>→ オフタイマーの設定を確認してください。   |

# 困ったときは

## 映像

| 症状  | 原因や対処の仕方   |
|---|--|
| 映像が出ない<br>AV映像が出ない                          | <ul style="list-style-type: none"><li>○アンテナは正しくつながっていますか？<br/>→ アンテナの接続を確認してください。</li><li>○明るさは正しく調整されていますか？<br/>→ 明るさの調整をなおしてください。</li><li>○外部機器と正しく接続されていますか？<br/>→ 外部機器の接続と電源を確認してください。</li></ul>   |
| 映像も音声も出ない                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>○電源プラグがコンセントから抜けていませんか？<br/>→ 電源コードの接続を確認してください。</li><li>○電源スイッチは入っていますか？<br/>→ 電源スイッチを入れてください。</li><li>○テレビモード以外の入力モードになっていませんか？<br/>→ テレビモードに設定してください。</li></ul>   |
| 映像も音声もノイズしか出ない                              | <ul style="list-style-type: none"><li>○アンテナケーブルが正しく接続されていますか？</li></ul>  |
| 映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる<br>映像が静止する、または時々静止する | <ul style="list-style-type: none"><li>○アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？<br/>→ アンテナを調整してください。</li><li>○アンテナ線の劣化が考えられます。</li><li>○着雪(アンテナ)、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。</li></ul> |
| 映りが悪い                                       | <ul style="list-style-type: none"><li>○アンテナケーブルが正しく接続されていますか？</li><li>○電波状態が悪いことが考えられます。</li></ul>   |
| 色合いが悪い、色が薄い                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>○色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？</li></ul>  |
| 画面が暗い                                       | <ul style="list-style-type: none"><li>○明るさは正しく調整されていますか？<br/>→ 明るさの調整をなおしてください。</li></ul>  |
| 接続した機器の映像がでない                               | <ul style="list-style-type: none"><li>○外部機器は正しくつながっていますか？<br/>→ 外部機器の接続と電源を確認してください。</li><li>○入力切替は合っていますか？<br/>→ リモコンまたは本体の入力切替ボタンで、入力を切り換えてください。</li></ul>   |



# 困ったときは

## 音声

| 症状    | 原因や対処の仕方   |
|-------|--|
| 音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> <li>○音量が最小になっていませんか？</li> <li>○「消音」状態になっていませんか？</li> <li>○イヤホンが接続されていませんか？</li> </ul> |

## デジタル放送

| 症状                           | 原因や対処の仕方   |
|------------------------------|--|
| 地上デジタル放送が受信できない              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○B-CASカードは正しく挿入されていますか？</li> <li>○地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？</li> </ul>    |
| 引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「初期設定」の「地上デジタル自動設定」をやり直してください。</li> </ul>                                  |
| 番組表が表示されない<br>表示されるチャンネルが少ない | <ul style="list-style-type: none"> <li>○お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。</li> </ul> |

## ネットワーク

| 症状  | 原因                                    | 対処方法  |
|---|---------------------------------------|---|
| 接続テストで「接続できませんでした」と表示される。イーサネット通信ができない (LAN 端子を使った双方向サービスができない) | LAN ケーブルは正しく接続されていますか？                | 接続を確認してください。ハブを使用している場合は、ハブの Link ランプを確認、点灯／点滅 (ランプの説明はハブの取扱説明書を確認ください) していない場合は、ケーブルの接続や、ケーブルの種類を確認してください。             |
|   | ネットワーク設定で IP アドレスが「0.0.0.0」になっていませんか？ | IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。  |
|   | DHCP が動作していない。                        | ルータの設定を再確認後、ルータを再起動してください。  |
|   | ネットワーク機器のトラブルが考えられます。                 | 本機はすべてのネットワーク機器に対して動作を保証するものではありません。また、ネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。   |
| 通信速度が遅い、不安定   | 回線が混雑する時間ではありませんか？                    | <p>時間を置いてから通信してみてください。</p> <p>※ 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など)</p> <p>通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。</p> |

# 困ったときは

## 録画

| 症状                | 原因や対処の仕方   |
|-------------------|--|
| USBハードディスクが認識されない | <ul style="list-style-type: none"><li>○テレビ番組録画に対応したUSBハードディスクですか？<br/>→テレビ番組録画に対応したUSBハードディスクを購入店にてご確認ください。</li><li>○USBハードディスクが正しく接続されていますか？<br/>→USBハードディスクを正しく接続してください。<br/>USBハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。</li><li>○USBハードディスクが本機に登録されていますか？<br/>→USBハードディスクを本機に登録してください。</li></ul>  |
| 録画できない            | <ul style="list-style-type: none"><li>○USBハードディスクの電源は入っていますか？<br/>→電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。</li><li>○USBハードディスクの空き容量が不足していませんか？<br/>→不要な番組を削除するか、「自動削除設定」を「削除する」にしてください。</li><li>○録画できない映像ではありませんか？<br/>→コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。</li><li>○放送開始時刻が変更されていませんか？<br/>→録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。<br/>放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「設定」メニューの「お知らせ」で確認できます。</li></ul> |
| 録画した番組が消えた        | <ul style="list-style-type: none"><li>○「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか？<br/>→「自動削除設定」を「削除しない」に設定してください。または、消したくない番組を選び「保護設定」を「保護する」に設定してください。</li></ul>   |
| 録画した番組が再生できない     | <ul style="list-style-type: none"><li>○本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。</li></ul>  |

# 表示メッセージ

代表的なエラーメッセージについて説明しています。

## 全般

| 表示されるメッセージ  | 考えられる原因  | 対処のしかた   |
|---|--|--|
| 受信レベルが低下しています。(E201)  | 悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。受信レベルが低下しています。  | 気象条件の回復などで信号レベルが上がると、通常の放送に戻ります。   |
| アンテナ接続や天候などの影響によりご覧になれません。(E202)                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナが放送に適合していない。</li> <li>●アンテナ線が外れたり、切れたりしています。</li> <li>●アンテナ電源が供給されていない（BS・110度CSアンテナの場合）。</li> <li>●アンテナの方向ずれや故障。</li> <li>●電波が弱くて視聴できない。</li> <li>●雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。</li> </ul> ※放送が休止中の場合にも表示されることがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。</li> <li>●アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。（販売店またはマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。）</li> <li>●BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。</li> </ul> |
| 現在、この放送は休止しています。(E203)  | 選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了しています。<br>※雨や雷、雪などの気象条件によって、一時的に受信できない場合も表示されることがあります。   | 番組表などで放送時間を確認します。  |
| このチャンネルは登録されていません。  | 放送のないチャンネルを選局しました。   | 番組表などでチャンネルを確認します。   |
| B-CASカードを正しく挿入してください。挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて直してください。 | MiniB-CASカードが挿入されていない。   | MiniB-CASカードを挿入します。  |
|   | MiniB-CASカードが正しく挿入されていない。  | MiniB-CASカードを正しく挿入します。   |
|   | MiniB-CASカードの金色端子部が汚れていませんか。   | きれいな乾いた布で金色端子部の汚れを拭き取ります。  |

# 表示メッセージ

## 機器ハードディスクに関するエラー表示

| 表示されるメッセージ  | 考えられる原因                                | 対処のしかた  |
|---|--|---|
| HDDの準備ができていません。USB-HDD設定を確認してください。                  | HDD 接続状態に問題がある可能性があります。                | HDD が正しく接続完了するまで待ちます。<br>HDD の登録・接続状態を確認します。                                      |
| HDDの空き容量が不足しています。録画を停止します。                          | HDDの空き容量が不足しています。                      | ●不要な番組を削除します。<br>●新しいUSBハードディスクを使用します。  |
| すでに録画していますので、新しい録画を開始するには、録画停止を押下してから、もう一度開始してください。 | USBハードディスクの録画が停止していません。<br>別の録画が実行中です。 | USBハードディスクの録画を停止します。<br>録画が完了するまで待ちます。<br>現在実行中の録画を停止します。<br>現在実行中の録画が完了するまで待ちます。 |
| 録画件数の上限に達しています。録画を停止します。                            | 録画件数が規定件数の上限に達しました。                    | 新しいUSBハードディスクを使用します。  |
| 予期しないエラーが発生しました。録画を停止します。                           | 番組情報が取得できず録画を停止します。                    | 番組情報が取得できるまで待つてから操作します。   |

# 主な仕様

| 型番          |             | JL32G7EG   | JL40G7EG                               | JU50G7EG       | JU55G7EG       |
|-------------|-------------|--|--|----------------|----------------|
| 液晶パネル       | 画面サイズ       | 32V 型  | 40V 型                                  | 50V 型          | 55V 型          |
|             | バックライト      | LED  |  |                |                |
|             | 画素数         | 1366x768   | 1920x1080                              | 3840x2160      | 3840x2160      |
|             | アスペクト比      | 16 : 9   |  |                |                |
|             | 応答速度        | 6.5ms  | 9.5ms                                  | 9.5ms          | 6.5ms          |
|             | 視野角         | 左右約 178°/上下約 178°  |  |                |                |
| 音声出力(スピーカー) |             | 5 W + 5W   | 8 W + 8W                               | 10 W + 10W     | 10 W + 10W     |
| 受信チャンネル     |             | 地上デジタル : VHF(1~12)、UHF(13~62)、CATV(C13~C63)<br>CATV パススルー(VHF、UHF) 対応、BS デジタル : BS000~BS999<br>110 度 CS デジタル : CS000~999 |  |                |                |
| チューナー       |             | 地上デジタル x2、BS デジタル x2、110 度 CS デジタル x2  |  |                |                |
| 入出力端子       | HDMI 入力     | 2 系統 CEC 対応、HDCP 対応、ARC 対応 (HDMI 1 のみ)   | 3 系統 CEC 対応、HDCP 対応、ARC 対応 (HDMI 1 のみ) |                |                |
|             | ビデオ入力       | 1 系統 3.5mm ミニジャック<br>映像 : 1V(p-p)、75Ω、同期負<br>音声 : 200mV (rms)、22kΩ 以上  |  |                |                |
|             | ヘッドホン出力     | 1 系統 3.5mm ミニジャック  |  |                |                |
|             | 光デジタル音声出力   | 1 系統 光デジタル角形   |  |                |                |
|             | LAN 端子      | RJ45   |  |                |                |
|             | USB 端子      | 2 系統 (USB2.0)  |  |                |                |
| ワイヤレス       | Wi-Fi       | 2.4GHz / 5.0GHz  |  |                |                |
|             | Bluetooth   | Bluetooth V5.0   |  |                |                |
| 機能          | プリインストールアプリ | Netflix、YouTube、PrimeVideo、メディアプレーヤー、etc.  |  |                |                |
|             | キャスト        | Chromecast Built-in  |  |                |                |
|             | 音声検索        | Google アシスタント  |  |                |                |
|             | HDR         | HDR10  |  |                |                |
| 使用環境/保管環境   |             | 温度 : 0~40°C / -20~60°C 湿度 : 80% RH 以下 (結露がないこと)  |  |                |                |
| サイズ         | スタンドなし 約    | 724x437x91mm   | 898x525x91mm                           | 1117x655x89mm  | 1231x722x90mm  |
|             | スタンドあり 約    | 724x471x181mm  | 898x560x181mm                          | 1117x708x274mm | 1232x773x274mm |
| 重量          | スタンドなし 約    | 3.9kg  | 5.7kg                                  | 9.0kg          | 11kg           |
|             | スタンドあり 約    | 4.0kg  | 5.8kg                                  | 9.3kg          | 11.2kg         |
| 電源          |             | AC 100V~50/60Hz  |  |                |                |
| 消費電力        |             | 53W  | 80W                                    | 103W           | 142W           |
| 待機電力        |             | 0.5W 以下  |  |                |                |
| 年間消費電力量     |             | 78KWh/年  | 123KWh/年                               | 154KWh/年       | 215KWh/年       |
| 付属品         |             | リモコン×1 個、単 4 形乾電池×2 本、電源コード×1、スタンド×2、スタンド取付用ネジ×4 本、mini-B-CAS カード x1 枚、取扱説明書(保証書付き)×1 部<br>※JL40G7EG は本体にケーブルが繋がっております。  |  |                |                |

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 保証とアフターサービス

## 基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

## 故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

**マクスゼンテクニカルセンター TEL: 0570-099-455**

mail : mtc@maxzen.jp 受付時間 : 平日9:00~17:00 月曜~金曜日 (祝日を除く)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

## 修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。  
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

## 部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 修理を依頼されるときは

### 保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

### 保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

### 修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。         |
| 送料  | 製品を修理会社まで運搬するための費用です。  |

**廃棄時にご注意願います。** 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際  
このような症状は  
ありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。  
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。  
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

| 保証書      |                         |                          |                          |                          |   |  |
|----------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---|--|
| 製品名      | 32型<br>HD<br>スマートディスプレイ | 40型<br>FHD<br>スマートディスプレイ | 50型<br>UHD<br>スマートディスプレイ | 55型<br>UHD<br>スマートディスプレイ | ご購入履歴を印刷していただき<br>本書と一緒に保管してください            |  |
| 製品型番     | JL32G7EG                | JL40G7EG                 | JU50G7EG                 | JU55G7EG                 |   |  |
| ご購入日     | 年 月 日                   |                          |                          |                          | 保証書のお買い上げ日について<br>は商品出荷日となります               |  |
| 故障の状況    | できるだけ具体的に               |                          |                          |                          |   |  |
| 接続している機器 |                         |                          |                          |                          | 保証書は再発行いたしません<br>ので、紛失しないように大切に<br>保管してください |  |
| お名前      |                         |                          |                          |                          |   |  |
| ご住所      |                         |                          |                          |                          | 販売店   |  |
| 電話番号     |                         |                          |                          |                          |   |  |

## 保証規定

- 1.修理はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
- 2.ご贈答、ご転居の際は、ご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・ご購入後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・保証書の提示がない場合。
- ・保証書にお客様名、ご購入日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合(本製品は一般家庭用であり業務用ではありません)
- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークション、フリマサイト、中古販売店にて購入。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in japan.)
- 5.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- 本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。
- 本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
- 本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
- 乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

**マクスゼンテクニカルセンター**

**TEL. 0570-099-455**

受付時間：平日 9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日を除く)

**mail : mtc@maxzen.jp**

Copyright ©MAXZEN.Inc All Rights Reserved.